新京日日新聞

夕刊　八月六日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

白崇禧を參謀總長に
長期抗日戰決意か
蔣介石まんまと白を抱き込む

【東京國通】南京政府は、各地軍閥を糾合して全國的決戰準備に移り、その具體的着手として山西の閻錫山、山東の韓復榘、湖南の何鍵、廣西の白崇禧、廣東の余漢謀氏等を廣東に招集、蔣介石氏、何應欽氏を始め軍政首腦部との間に强硬なる對日作戰を鳩首協議したと傳へられ、又四川の劉湘氏には二ヶ師を一軍に編成して黄河沿岸まで出動せしむるやう命じたといはれてゐる、疑問視されてゐた白崇禧氏の北上は四日の南京入りによつて愈よ確實となつたが、程潜氏を退けて參謀總長に任命するに決定した模様で、白氏從來の立場、見解から判斷すると受諾するに至つた經緯は次の如く考へられる

白崇禧氏の抗日は反蔣のためにとり來つた政策であつたため、北支事變の擴大はかれの全く思ふ壺にはまつたものであり、再三の南京よりの

招電 にも言葉を左右にして應じなかつたが、事態の擴大と深刻化は到底かゝる消極的態度に甘んじることを許容しなくなり、又支那の一大危機は小乘的な軍閥的利己心を漸次克服せしめつゝあつた折柄つひに蔣介石氏の辭を低くした乞ひによつて北上することになつたもので、蔣介石氏との對峙を欲する彼としては參謀總長の餌によつてあやつられる彼ではなかつたが、時局の紛爭はかれの希望を滿足させる程悠長なものでなく、これによつて廣西をはじめ西南各地、湖南、湖北の軍隊の編成派遣問題に對し有力な發言權を有することが可能となるため、自己のある程度の不滿を抑制して南京の希望に副ふたものと見られるに至つたが、參謀總長就任の上は南京に留まり

中央 と行動を共にするものと考へられる、尚雲南の龍雲の動向については尚確報は入らぬが、往時の彼の動靜から考察して徹底的に南京に反楯つくものでなく、その反蔣的色彩もすこぶる柔軟性を帶び、雲南省自體の利益に反せざる限り南京と歩調を合せるのではないかと見られてをり、又廣東を代表する余漢謀氏が中央の傀儡である事は彼の經歷から見ても龍雲と同程度のものと見られる、斯くの如く軍閥の將領を結合して南京は腹背の顧慮を一掃すると共に蔣介石氏は全國に北支事變は局地的問題ではなく全國的全體的問題であると宣傳し河北に於る對日戰備に腐心しては、長期持久戰の策を講じて鰻戰術とゲリラ戰法をもつて臨み一方第一線に雜軍を

配備 して日本軍と直接衝突を起さして中央軍の損傷を巧妙に防ぎ隴海線黄河沿岸を精鋭な中央軍で固め、漸次戰線を有利に導かんとする作戰に出るに至つた（寫眞は白崇禧氏）

右するか左するか
けふの南京會議

蔣介石氏の對日態度を決定する歷史的會議とも謂ふべき南京政府の臨時最高領袖會議は中央軍、共產黨軍其他各軍閥より各幹部出席のもとに六日より開催、各軍幹部よりの强硬なる意見が開陳されるものとみられるが、蔣介石氏がこの會議を如何に切拔けるかは頗る注視されてゐる、即ち蔣介石氏が抗日全面戰に引込まれるかそれとも對日戰に勝利の見込みなきを見透して政治的解決策を協議するか、何れにしても蔣氏としては抗日か否かの最後的決意をなすべき會議であり、或は周圍の情勢より抗日全面戰になるのではないかと推測されてゐる、南京政府としては前線に雜軍及び傍系軍を配置して中央軍の進出に愼重を期してゐる點より會議は相當の波瀾が豫想される

學良近く南京へ
國防會議列席か
出處進退注目さる

【上海六日發國通】西安事件以後浙江省奉化縣に監禁されてゐた張學良氏は蔣介石氏よりの招電により近く南京に赴き、全國將領國防會議に列席するに決したといはれるが、張學良氏は蔣介石氏と會見の上はかねての持論たる抗日即戰論をふりかざして時局の舞臺に乘出し、もつて過般の西安事件によつて失はれた地位と人望の恢復を圖らんとするものと見られる、張學良氏が若しこれを機會に復活するとせば舊東北軍を統帥して北上部隊に參加することは豫想に難からずその出處進退は注目されてゐる（寫眞は張學良氏）

共產思想の排擊に
日支相共に協力せば
東洋の和平確立されん
―廣田外相所信披瀝―

【東京國通】五日の衆議院北支事變特別税法委員會に於て民政黨の北　吉、政友會の箸本太吉兩君が廣田外相の出席を求め相當深刻に北支事變に對する政府の根本方針を追求したが、この質問に對し廣田外相は大要左の如き答辯をなし、その所信を明確に披瀝した

北　吉君（民）北支事變の根本原因をなすものは支那の排日侮日の使嗾であり、事變は今や全面的衝突にまで立ち至り、あくまでこれを膺懲せざれば到底拔本塞源の解決なしと思ふが外相の所見如何

廣田外相 排日侮日についてはもつとも關心を有し、從來私はこれが根絶に努力して來た、しかしてこの排日侮日の背後に横たはるものは共產主義でありコミンテルンである、西安事件はこの蔣介石氏を中心としての共產主義の動きとして注目すべき支那の現狀であつた、しかし私は支那全體が排日侮日をもつて固められてゐるといふ考へ方はとらない、支那の指導的人物の中にもこの點に關し話せば解る人があると思ふ、日本も支那に求むるところがあれば支那もまたわが國に對し求むるところがあるので、兩國相扶けあふ必要があると信じてゐる、この際特に私の考へることは日獨防共協定に支那を參加せしめ、東洋から共產思想を無くして了ふことが出來れば東洋の平和は確立されるといふことである、從つて共產運動の排擊といふ點では日支提携は必ず實現し得ると考へてゐる

北　吉君 日支親善は中央軍を徹底的に撲滅するにあらずんば實現し得ないのではないか

外相 わが國は依然として現地解決主義を捨てゝ居ないが軍と軍が對立してゐるのであるから何時事態が重大化するかも知れぬが、日支の全面的衝突が大局的東洋平和のためにとらざるところである事を支那側も充分認識してほしいと思つてゐる

箸本太吉君 現地解決は今日既に問題でないのではないか、蔣介石、汪兆銘兩氏とも組織的抗日を叫んでゐるが如何

外相 兩氏の聲明は餘程の含味があるからそのつもりで讀む必要がある、彼らの認識是正は必ずしも困難ではあるまい

重要議案悉く
六日中に貴院に廻附
會期延長のこととなし

【東京國通】北支事變進展途上の緊迫した情勢下に開かれた今期特別議會は巨額の追加豫算案と一億圓の臨時增税案の提出によつて會期終了間際に至り漸く議會らしい議事討論をなし、場合によつては會期延長の必要を生ずるものとみられてゐたが、衆議院における議事は擧國一致體制の下に豫想外に圓滑なる進行を示し四億一千萬圓の第四次追加豫算をはじめ特別税法案などの重要議案も六日中には衆議院より貴族院に送附され二週間の會期は延長することなくこゝに政府は貴族院は勿論政民兩黨の絶對支持の下に北支事變に對處して一層擧國一致體制を强化し七日の最終日をもつて今議會を一氣に乘切ることになつた

一松定吉氏等
平安丸で渡歐

【東京國通】九月一日パリに開催の萬國議員會議に參列の一松定吉、林平馬、宮脇長吉、川島正次郎、水谷長三郎、中川重春、小山倉之助、中御門經民男の諸氏は五日午後三時横濱解纜の平安丸に乘船、アメリカ經由渡歐の途に上つた

中根張家口代理
領事引揚げ

【承德國通】中根張家口代理領事はさきに在留日本人の引揚げをなし自分は館員數名とゝもに最後まで頑張つてゐたが、情勢急迫を告げるに及んだので殿りを承り四日承德に引揚げた、氏は同地方の情勢につき語る

事變發生とゝもに察哈爾方面を圈外におかんがため努力したが、漸次中央化するに至り察哈爾省主席劉汝明氏も事變勃發と同時に態度を一變、排日を標榜するの形跡が見えたので、危險を感じ取敢へず在留邦人の引揚げを敢行した、自分は少くとも四ケ月は籠城するつもりで頑張つてゐたが本省の命令で引揚げて來た、一般民衆は平綏線の軍需輸送によつて糧道を絶たれ相當窮迫してゐる模様だ、一部上層階級には抗日の不可なることを認識してゐる者もあるが、これも現在の情勢では口に出す者はない、事變が治まる迄はどうにもならないだらう、從つて領事館の再開もその時まで待つほかない

河北、察哈爾兩省の
中央軍配備狀況

【天津五日發國通】河北、察哈爾兩省に於る中央軍の配備狀況は左の如くである

一、懷來、宣化間には湯八十四師高桂滋、第八十九師王仲廉、總兵力約二萬
一、張家口には第百四十三師劉汝明の約一萬五千
一、馬廠附近には第三十八師の約一萬
一、定興附近に第三十七師馮治安、第百三十二師（師長趙登禹は戰死）約二萬
一、保定附近には第五十三軍（軍長萬福麟）の第百十六師繆澂流、第百三十師朱鴻勛、第百十九師蕭兆麟、の外第十師騎兵第一旅を合せ總兵力約三萬五千
一、定州より正定間には第三十師孫連仲、第三十一師池峰城、獨立第四十四旅、第三十九師龍炳勳の總計三萬
一、東鹿より趙州間には第九十一師馮占海の約五萬
一、高邑より順德間には第百四十一師、第百四十二師呂濟、第百三十九師黄光華の計二萬七千

で總兵力二十萬七千の大軍に達し、なほ後續中央軍は津浦線、平漢線で北上陸續輸送されつゝあり、前記進出中央軍は陣地を構築、戰備に汲々たる狀態で、このほか德州、正定等では既設戰備の擴張及び新設に大童となつてゐる

萬策盡きた
張自忠氏
一兩日中に辭意表明

【北平五日發國通】去る廿八日夜宋哲元氏の北平逃出しと共に冀察政務委員長代理に就任し爾來冀察政權內に於る第廿九軍系要人の總帥として政權喰下りに八方努力を續けて來た張自忠氏は、反軍閥的空氣緩和に努めて來たが、遂に萬策盡きいよいよ辭職を決意するに至り、一兩日中に正式辭意を聲明することゝなつた 即ち張氏は自發的に第卅八師長の軍職を去るとともに冀察政權と併行的存在たる北平地方維持會に對し自ら多額の醵出をする等對民間工作に腐心して來たが、第廿九軍に對する反撥空氣は豫想外に强く四日最後の切札として鄒泉、冷家驥氏等地方維持會代表者を冀察政務委員會委員に任命し第廿九軍兵員と交替せしめ冀察政權の軍閥的色彩を稀薄にし、もつて民間側との妥協をはからんとした然るに四圍の情勢は緩和せるみか今次の事變を契機に平津一帶を軍閥の搾取より開放せんとする一般の熱意はいよいよ昂まる一方なので、張自忠氏も政權居据りは到底不可能なるを察知しいよいよ辭職の肚を極めるに至つたものである

漢口の排日惡化
邦人婦女子引揚ぐ

【漢口六日發國通】漢口に於る排日運動は從來に見ざる深刻さをもつて急激に惡化、居留邦人は米、野菜等の生活必需品の買入れにも困難を感じ又邦人使用の支那人は支那官憲の脅迫で續々逃げ出して居る狀態である、わが出先官憲並に居留民團側は邦人全部引上げの考慮の已むなきに至り最惡の場合も考慮して來る八日邦人婦女子四百餘名を取敢へず急遽避難せしむることゝなつた

沈青島市長
排擊運動

【青島五日發國通】青島市長沈鴻烈氏はさきにわが大鷹總領事に對し如何なる理由を問はず日本陸戰隊の上陸せんとする場合は支那側において武力をもつて阻止する旨通告、以來青島の空氣は俄然一變して陰慘な雰圍氣に包まれるに至つたが、五十萬市民をこの不安のどん底に投込まんとする沈市長の態度に對し各國民は齊しく憤慨して早くも沈市長排擊運動が行はれつゝあり、これが原因となつて不祥事にまで發展する可能性多分に見受けられ事態急變の危險がいよいよ痛感されるに至つた

米國駐屯軍の
天津撤退强調
米上院議員ルイス氏

【ワシントン四日發國通】民主黨上院議員ルイス氏は七月卅一日上院に於て、中立法の發動が米國を戰爭に捲込む危險ある旨を論じたが、四日午後上院に於て更に米國駐屯軍の天津よりの撤退を强調して次の如く述べた

米國軍隊が天津に駐屯する限り何時日本軍と衝突するかも測られない、米國が軍隊を支那に駐屯させる理由は最早消滅してをり、これ以上駐屯させることは米國に危險を齎すばかりである

滿洲里會議
續開第一日

第三次滿洲里會議續開第一日は三日滿洲里白系露人中學校において開催、滿洲國側烏爾金、下村兩代表、外蒙側サンボー代表以下參集、會議續開後の議事進行方針その他につき打合せを遂げ、今後は隔日に會議を開くことに決定、散會した

滿拓公社
設立委員任命

八月五日附を以て滿洲拓植公社設立委員左の通り任命さる

總務廳次長　谷次亨
同　神吉正一
總務廳企畫處長　松田令輔
總務廳法制處長　松本俠
總務廳主計處長　古海忠之
地籍整理局長　[illegible]
外務局政務處長　筒井潔
內務局管理處長　武內哲夫
司法部民事司長　靑木佐治彥
產業部次長　岸信介
產業部農務司長　五十子卷三
產業部拓政司長　森重千夫
經濟部次長　西村淳一郎
經濟部金融司長　田中恭
（滿洲拓植株式會社總裁）　坪上貞二
滿洲拓植公社設立委員を命ず
滿洲拓植公社設立委員を委囑す
日本側設立委員は次の通りである
法制局第一部長　森山鋭一
對滿事務局次長　靑木一男
關東軍第三課長　竹下義晴
關東軍　永井八津次
關東軍顧問　稻垣征夫
外務省條約局長　三谷隆信

楊柳青で三邦人
支那兵に虐殺さる

【天津五日發國通】七月卅日天津の市街戰未だやまず津浦線列車は楊柳青止りとなつたので、同列車に乘つてゐた邦人三名（氏名不詳）はやむなく徒歩で天津に向つたが、途中支那敗殘兵のため虐殺され所持品悉く掠奪されたとの報が明治興業會社天津出張所滿洲國人によつて齎らされた、總領事館警察で目下取調中

人事往來

大使館參事官 澤田廉三
大藏省理財局長 關原忠三
司法省民事局長 大森洪太
農林省更生部長 小平權一
拓務省拓務局長 安井誠一郎
關東局司政部長 三浦直彥
大日本青年團 生駒高常
滿鐵理事 宇佐美寛爾
東拓新京支店長 中井雅人

滯京

▲芝喜代二氏（鹽業會社）五日來京國都ホテル ▲甲斐喜八郎氏（同）同 ▲眞田金藏氏（土木技師）同 ▲本村一氏（商業）同 ▲山下信雄氏（官吏）同 ▲藤原可佑氏（營口水道會社）同 ▲須﨑健氏（延吉金鑛）同 ▲石井貞雄氏（請負業）同 ▲村山武雄氏（ハルピン稅關）同 ▲植村美人氏（同）同 ▲苗地喜作氏（昭和製鋼所）同 ▲片寄閑氏（會社員）同 ▲青柳德太郎氏（同）同滿蒙旅館 ▲菊地三和氏（同）同 ▲天野榮造氏（牧師）同 ▲片桐繁次氏（東洋無線）同 ▲熊谷恭治氏（戶田組）同蓬萊ホテル ▲中山聖藏氏（教師）同新京ホテル ▲善岡宮治氏（五常林務署）同 ▲松原弘親氏（滿鐵）同 ▲石井武氏（日本硝子）同中央ホテル ▲松田俊彥氏（官吏）同富士屋 ▲橋本陸次氏（同）同 ▲安部鳳成氏（同）同 ▲飜原二一氏（同）同

出發

▲武川康太郎氏 五日發奉天へ ▲稻富五助氏 同 ▲古賀充氏 同 ▲靑柳德太郎氏 同撫順へ ▲渡邊供爾氏 同大連へ ▲苫米地次郎氏 同 ▲土井德次氏 同圖們へ ▲久山秀夫氏 同大連へ ▲來松米市氏 同奉天へ ▲金山直藏氏 同チチハルへ ▲鮫島清衛氏 同 ▲康安得氏 同大連へ ▲竹田俊雄氏 同吉林へ ▲下村和三郎氏 同大石橋へ ▲松山圭二氏 同 ▲奧田千之氏 同大連へ ▲西金七郎氏 同淸津へ ▲長岡寬晄氏 同ハルピンへ ▲谷田繁太郎氏 同奉天へ ▲辰巳卯兵衛氏 同ハルピンへ ▲鴻崎秀武氏 同奉天へ ▲中村淸文氏 同 ▲田妹辰次郎氏 同大連へ ▲中井猛之進氏 同ハルピンへ ▲櫻澤千藏氏 同大連へ

その日〳〵

□ 敗將宋自ら報じて枯骨五千と報ず、これだけは白髮三千丈式ではない
□ 反蔣の旗も、名利に誘はれては捲くか、崇覇南京に入つては先きが見える
□ 直系は後備への蔣の作戰、成る經雜軍をよそ様から一掃して貰へば大いに助かる
□ だがそれでは助からぬ面々がゐる、統一がこの邊から破れはせぬか
□ 今度は滿鐵線の不通、あじあの冷房裝置より軌道の防水裝置が大事だつた

白い天使（五七）
林房雄作　吉田貞里畫

窓（四）

『ほら、あの窓ぎわのソファにゐるのは、あなたの良人、そのとなりは――』

いつかはなした、デパートの賣子だつた娘。――

『だとすると、あなたも、たれかほかの人を愛する權利がある』

『えゝあるでせう――』

『ぼくではいけませんか』

『ご自分にたづねてごらんなさい――』

田中さあなたさは處女誘惑株式會社の重役さん。どつちもどつちぢやありませんか？』

『えゝだれがそんなことを？　だれが、いつたのです。……たれが？』

『あたしもいひました。それから秀夫さんも。では、重役さん、さようなら』

史子はさつさと、でゝ行つてしまつた。

福井は、しやくにさわつてならなかつた。

ばかにしてかゝつてゐた史子にこんなみじめな敗をさらうさは思ひがけなかつたのだ。酒もてつだつてゐたが、むしやくしやまぎれに、告口のすきな性格がむら〳〵しはじめて、たれかに泥をはねかけてやらねばおさまらぬ氣持になつた。

秀夫さいふ名前がでたので思ひついて、いそいで田中のそばにでかけて行つた。

『おい、きみ、急用だ。ちよつと、ちよつと』

次の間につれだしてきて

『きみの妻君はかへつたよ』

『かまはないじやないか』

『きみと弘子孃のことを、大いにやきもちやいてゐるね。血相かへてかへつたのだぜ』

『そのくらゐのこと、はじめからわかつてゐるよ』

『あまり大きな口はきかない方がいゝね。だつて、いつでも華族の娘のおばかさんではないらしいぜ。史子夫人は、弟の秀夫君をぐるになつて、きみと弘子さんをひきはなす大陰謀をたくらんでゐる』

『ははは』

田中は笑ひだした。ポケットから、いつか福井が史子夫人に送つた手紙をとりだして。

『とにかく、きみといふ男はたいへんな親友だ。この手紙はさつき史子の手文庫の中からひろつてきたものだがね。どうだ、史子がさきにかへつたのも原因はきみにあるのじやないかい。さつきこの部屋で、こそ〳〵やつてゐたではないか。自分の計劃が豫定どほりにゆかないのでそのはらいせに、おれの方にけちをつけようさ、いふのじやないかね』

『ふん、さう思つてゐるがぶじだらう。おれは二度とおなじ忠告はしないからね、じやさようなら』

『おつと、まつた、まつた』

『そら、みろ』

さ、またかへつてきて

『秀夫君はね、どうした因縁からか、きみよりさきに弘子を知つてゐるらしいのだ。このまへも、ちやんと二人が密會してゐる現場を僕は摑んでゐる。ぼくがみてゐるのを氣がつかないほどの、若い二人の夢中の仲のよさだつた。――きみの妻君は、さうあつても、弘子を秀夫にわたすのださいつて今かへつて行つたよさあさうだ、妻と弟が、裏表から狙つてゐては、きみの寶石もながくきみの手中にとゞまつてゐようとは思へないね』

龍光大綬章を拜受し 鄭前總理の感激
東順治路に悠々自適する 老政客の心境を敲く

滿洲國初代の國務總理鄭孝胥氏は去る康德二年（昭和十年）五月張景惠氏に宰相の椅子を讓り野に下つて以來新京東順治路の自邸に悠々自適、鳴かず飛ばずの閑日月を送つてゐたが、畏き邊りより建國前後の功を嘉せられて四日宮廷に御召を受け、臣下としての最高榮譽龍光大綬章を拜受したこの日の鄭氏邸は久方振りの閑寂を破つて光榮拜受の感激と喜色に包まれたが、二年有餘日世間から遠ざかつてゐた老政客最近の心境を敲きに鄭氏を訪ふと、七十二歳の老齡とも見えぬ矍鑠たる姿を現はして次のやうに語つた

今回の大綬章拜受については前の日に張總理から突然通知があつて初めて有難い思召を知つた樣な譯です、建國以來この光榮に浴してゐるのは日本人では本庄繁大將に筑紫前參議、滿人では張總理に私だけです、誠に感激に堪へない次第です總理をやめてからの二年餘訪客も稀でずつと靜かな毎日を送つて居ります、歲をとると午前三時頃には眼を覺してしまふので、時間が餘つて困るところから書を唯一の友としてゐます、氣儘氣隨に暮してゐますせいか最近めつきり健康になりました、建國大學も漸くその緒についた樣ですね、建國精神を基調とする眞摯な教育方針によつて次代を繼ぐ國民の指導者を多數生んで行くことは刻下の急務です、訓練の方法に最善をつくして最大の成果を擧げるやう望んでゐます、今回の北支事變は北支民衆にとつて大きな試鍊です、この試鍊の因つて來るところのものをよく確認し、日本軍の廿九軍に對する膺懲は單に日本の正義のみではなく華北一億の民衆の正義のためであるといふことを自覺して民衆が輕擧妄動しなかつたならば華北の民衆は本當に救はれるのではないかと考へてゐます永年南京政府の苛政壓迫に苦しんだ民衆にとつて日本軍今回の行動は人道上重要な美擧だと思ひます、北平一帶は支那數千年來の文化の精粹を蒐めてゐる土地ですし、これ等の貴重なものを兵火によつて失ひたくはないと思ひます、それにつけても南京政府自體の猛省が最良の文化保存方法であると思ひます（寫眞は喜色滿面の鄭氏）

線路五百米浸水し 水深く路盤流失
新京着列車の運行不定
滿鐵本線水害情況

連京本線亂石山、得勝台區間の水害現場は六日朝から漸く減水し始めたがなほ長さ五百メートルに亙つて線路は浸水しその中間約百メートル程の路盤は流失、水の深さはなほ線路から一メートル程あり、復舊の見込は立たず幾分高くなつてゐる上り本線だけは六日夕刻までには開通になるのではないかとも見られてゐるが判然とせぬ、六日新京着列車は殆ど運休となり左記列車は新京、鐵嶺間折返し運行の豫定である、即ち

△上り（新京發鐵嶺止り）午前十時半、午後二時三十分、同三時四十分、同六時、同九時五十分、同十一時四十五分、同十一時四十五分

△下り（鐵嶺特發新京着）午前八時着同二十分發ハルビンへ、午後三時、同四時三十分、同七時三十分、同十時五十五分、同十一時四十五分

午後一時十分上りあじあは新京から特發する、はとは上下とも運轉（新京ハルビン間あじあも上下とも運轉）新京午後五時三十五分發釜山行臨時急行列車は新京を定時に發し現場を徐行して釜山まで運行するやも判らぬ

連京線復舊には
尚二、三日を要する見込

【奉天發國通】連京線亂石山―得勝臺間の水害個所は今朝に至るも降雨やまぬため、奉天鐵道事務所の必死の努力にも拘らず復舊工事進捗せず開通までにはなほ二、三日を要する見込である、なほ連京線列車は奉天―大連間、鐵嶺―新京間を平常ダイヤ通り折返し運轉を行つてゐる、滿航では午前九時奉天飛行場發臨時機を初發に奉天―四平街間旅客連絡を行つてゐる

四平街飛行場浸水
旅客輸送を新京奉天間に

航空會社では四平街、奉天間に臨時飛行を試みて旅客を輸送してゐたが六日午前十一時になつて四平街飛行機の着發不能に陷つたため、直ちに新京奉天間に六人乘り飛行機三台を臨時に飛ばすことになり新京、奉天では滿員になり次第絕へず着發してゐる、同區間の航空運賃は十八圓である込み。なほ奉天方面に出るには四平街鄭家屯大虎山を迂廻して奉天に出る方法があるが寧ろ列車の連絡運賃の點から飛行便によるが最も便利と見られてゐる、なほ朝鮮方面にゆくには京圖線から北鮮に出る方法があるのみ

貨物列車が脫線
清原、英額門間にて

新京から奉天に赴く唯一の鐵道路として殘つてゐた奉吉線では五日午後八時ごろになつて清原、英額門間で貨物列車が脫線しこれ亦遂に列車不通となり復舊は七日正午頃の見込み。

浸水八百米

【得勝臺國通】水禍に見舞れた滿鐵本線 得勝臺＝亂石山驛間は六日朝に至るも降雨やまず、氾濫せる大氾河は物凄い水勢で濁流が渦をまき、線路上の浸水は八百米、水深一米位で現場の路盤も十二ヶ所程約十米づゝ決潰し、枕木と線路は河の上に架つた梯子のやうになつてゐて近寄ることも出來ない、鐵嶺驛保線區で

平安北道の水害
死者百卅名に上る

【京城五日發國通】一日夜來國境地方を襲つた豪雨による平安北道の被害は五日朝までに判明せるところによれば、死者百卅名、負傷者十八名に上り、その他家屋流失浸水など多數で農作物の被害も相當多額に上つてゐる

列車立往生
大混雜する鐵嶺

【鐵嶺發國通】得勝臺、亂石山間の水害による鐵道不通で滿鐵本線大連行第六列車は鐵嶺驛に立往生して旅客は驛待合室にひしめき合つてゐるが被害現場より驛に達した報告には何れも增水の報ばかりでこゝ二、三日は回復の見込みがたゝないことが確實となつたので、今朝來四平街に引返し飛行機で奉天に向ふ者、新京に引返す者或は開通を待つて何時までも頑張るといふ者が現はれて來た、一方驛前の旅館は昨夜來大井川の川止めもかくやと思ふばかりのたてこみかたで大ホクホクの態であるが、市內の消防組、國防婦人會、防護團員は何れも總出動で婦人連のたすき姿も甲斐々々しく炊出しに大童になつてゐる

イヤは大混亂を呈してゐる
一、奉吉線、清原＝門虎屯間は降雨のため地盤軟弱となり六日午前六時半頃徐行中の五〇一列車が遂に脫線不通となつた、幸ひ警戒徐行してゐたので乘客には別條なかつた
一、圖佳線、八虎力＝千振間は水害のため六日午前時遂に不通となつた

鹽澤課長招宴

關東局警務部職員及新京署、領警署幹部は五日午後五時より中央飯店に於て今回の陸軍異動で豐橋聯隊長として榮轉する關東局鹽澤警備課長を招き送別の宴を開催、午後六時半散會した

經濟を中心に 懇談會を開催
十日午後中央飯店で

本年一月以來休會中の特別市公署主催實業懇談會は來る十日（火曜日）午後三時から豐樂路中央飯店に於て開催されるが、議題は「附屬地經濟懇話會と本懇談會と合併の件」で席上關東軍顧問稻垣征夫氏の「滿洲移民と一般產業との關聯性」と題する講話がある筈

名所圖案入 風呂敷を作る

土產商組合で豫て準備中の新京名所圖案入り風呂敷を製作し池邊青季氏の圖案が出來上つたので田村組合長は七日圖案を携行して內地に赴き直ちに製造に着手する事になつた

馬を盜まる
四頭で時價約三百圓

三田組の請負によつて作業中の南嶺建國廟建築場に於て五日午後十二時頃王某所有の同工事場トロ曳き馬四頭時價三百圓が何者にか竊取されたが犯人は鐵條網柵を破壞して侵入したもので同警署に於て手配搜査中である

二人組の露人 釣錢詐欺

五日午後四時半頃永樂町三丁目錦グリルに特別市西四馬路旅舍天合店よりビール二本を廿圓で支拂ふから釣錢を持參するやうにと電話の注文ありボーイ齊長桂が十八圓八十錢の釣錢とビールを屆けるべく旅舍を訪れると相手は二人連れの露人で注文のビールには目もくれず釣錢を先に出させて强奪そのまゝ表に飛び出し逃走したので、喫驚したボーイは直ちに追跡した、折柄同方面警戒中の領警署城口刑事と北門外派出所詰河原巡查が追ひつ追はれつのたゞならぬ狀態を發見、逃がれんとする露人を格鬪の末逮捕駈けつけたボーイの申立てによつて釣錢詐欺の事情が判明したので領事署に檢束留置したが、この不逞露人は住所不定無職ミハエル・ウエゲロフ（四一）・アンドリエフアニスカ（三八）で犯行の手口からかねて搜査中の全市を股に頻々と釣錢詐欺を働いてゐた三人組露西亞人の一味ではないかと見られ目下嚴重取調べ中である

少年 はね飛さる

五日午後十時半頃新京祝町二ノ一三先の十字路を祝町二ノ一四中村太惠四氏の次男俊雄（一一）君が横切らうとした刹那、横合ひから進行してきた運轉手久佐野盛義（二四）が運轉する新京六〇六一號の自動車にはね飛ばされ、その場に昏倒した、直ちに附近の沖津外科病院に收容手當を加へてゐるが、傷は唇、右足首の擦過傷の輕傷なるも前額部を强打したゝめ腦震盪を起し意識不明である、但し生命には別條なし

洗濯外交員盜む
山東生れ劉捕はる

去月廿七日午前九時頃特別市益光路三〇八、大內組出張所內松山新一郎氏は金側腕時計時價卅五圓を洗面所に置いた一寸の隙に何者かに竊取され領警署に屆出で犯人は洗布所の支那人外交員らしいとの申立てにより以來同署に於て搜査中であつたが五日谷口刑事は山東省生れ軍用路松室洗布所外交員劉吉昌（一九）を被疑者として檢索取調べの結果右犯行を自白した、尚劉は竊盜常習犯として餘罪を嚴重追及中である

警察廳異動

首都警察廳では八月一日附左の人事異動を行ひ六日次の如く發表した

外事科勤務　警佐　石川　武雄
濱江省轉勤を命ず
衞生科勤務　警佐　岸　德四郎
錦州省轉勤を命ず
錦縣勤務
首都警察廳轉勤を命ず　警佐　齋藤　久七
哈爾濱警察廳勤務　警佐　則松　夢吉
首都警察廳勤務を命ず
警務科勤務　屬官　小野　光明
吉林省延吉縣（警佐）轉勤を命ず
同　巡官　太田　昌雄
奉天省營口縣轉勤を命ず
保安科勤務　警佐　陣之內龍助
濱江省青岡縣勤務を命ず
警佐　谷口　傳藏
濱口省肇州縣轉勤を命ず

新京署精勤者

十二名に賞狀授與

新京署今年度精勤者に對する賞狀授與式は六日午前九時より二階講堂において行はれたが、榮ある受賞者は左の如くである
△巡查　伊藤武夫、增山親一
御手洗孫七、岸田正雄
△巡查補　中學泺、金應鉉、張德晃
△巡補　王日海、趙日成、張立德、丁吉升、馬凞久

關東局警官異動

關東局管下警察官異動のうち五日發令の分左の如くである
鳳凰城警察署長　警視　河野　良一
補遼陽警察署長
遼陽警察署長　警部　中島　菊平
補鳳凰城警察署長

カフエー火ノ鳥

富士町三丁目カフエー火ノ鳥はホール狹小のため先般來東二條通り（割烹新京前）に開店準備中の所漸くホールの裝飾も完備したので移轉開業した、同店は今度スタンドを特設して各洋酒を賣出してゐるので一般より好評である

一休開店

吉野町銀座キネマの横に一休といふとんかつとすき燒の店が出來た、經營者は元曙にゐた幇間袋一平

#『銃後の赤誠つゞく』
『兵隊さんに上て下さい』
子供に映る非常時色（本社扱）

國都市民銃後の赤誠は日とともに昂まるばかり、金額の多寡は問ふところではない要はその中に籠もる眞心のみ、この熱烈なる擧國一致の支援があるからこそ前線將兵は炎熱も敵軍も物の數ではなく、安んじて皇威を全世界に光被することが出來るのだ、此の意味で本社が逸早く醵明した恤兵獻金取扱開始は市民一般の多大の贊助を得て獻金獻納申込み相次ぐ狀態で係員も忙殺されてゐる程であるが、六日午前中までに到達したものは次の通り、零細ながら血も淚もにじむ樣な淨財の數々である

大きくなつたら兵隊だ

一、僕も大きくなつたら兵隊さんだと曙町四丁目九番地の北澤多喜夫君（五才）から金十圓と次の樣な文面の代筆を添へて皇軍への獻金を申出でて來た、この小さき心に感銘した本社では直ちに慰問金の手續きをとり多喜夫少年の前途を祝福した
兵隊さん、兵隊さん暑いでせう、うんと御國の爲めに働いで下さい、僕も大きくなつたら兵隊さんになつて働きます、こゝに少しですがお父さんから貰つた小遣が溜つて居ります、皆さんから兵隊さんの苦勞は聞きました、何か買つて食べて元氣よく働いて下さいどうぞ御國の爲に體を大事にして下さい、さよなら

兒童の眞心

一、次は室町小學校高等一年生の趙明緣君、活潑な聲で「兵隊さんに上げて下さい」と入つてくるなり驅け出していつてしまつた後姿には編輯局社員一同微笑せずにはゐられなかつた、封筒入りの金額は金一圓であつた
一、日本橋通り九一の喫茶店松葉は古くからのファンには忘れられない存在であるが此處の三人娘木崎實枝さん同絹子さん、同千代子さんは北支事變勃發以來皇軍將兵の辛苦を思ふもの切なるものがあつたが、六日三人にて金十五圓を獻金慰問の足しにして貰ひ度いと本社に持參した

妾達も……と 鮮妓連獻金

一、猛烈なる炎暑と戰ひ乍ら暴戾なる支那軍を破竹の勢ひで膺懲する皇軍の爲めに何か慰問をしたい、と市內三笠町三丁目六ノ二朝鮮料亭金剛館の抱妓一同はかねてから話合づてゐたるところ、本日が頂度その年期手當を受取つたので、この可憐な妓達は僅かな賞與の一部分から「皇軍の兵隊さんに送つて下さい」と誠をこめた恤兵金を一同別々の封筒に入れ總額金八圓取纏め本社を通じて獻金を申出た本社ではこの熱誠を承け繼いで早速獻納の手續をとることゝした、その內譯一圓江崎、一圓春子、一圓操、一圓花美、一圓金子、一圓千鳥、五十錢美子、五十錢富子、五十錢夏子、五十錢芳枝

一千圓獻金
新京商議が

北支事變勃發するや逸早く聲明書を發し國都經濟界有力者を擧げて力强い皇軍絕對支援の赤誠を示した新京商工會議所では、その誠意を具體的に顯はすべくかねて議員間に協議を進めてゐたところ此の程三十名の議員一同の贊成を得て金一千圓を醵出し恤兵獻金とすることゝなり、六日午前十時會頭石崎廣次郎氏は理事尾藤正義氏を同道關東軍司令部を訪問右獻金手續をとつた

慰問金募集の 詩吟劍舞の夕

北支出動皇軍に對する國民感謝の赤誠は恤兵金慰問袋となつて現はれてゐるが昨年十一日國民精神作興週間に創立された新京詩吟劍舞會では時局に對處し國民精神の發揚と士氣を鼓舞し併せて出動皇軍を慰問するため『北支出動皇軍慰問金募集詩吟劍舞の夕』を催すべく九日頃幹事會を開き具體案を決定する事になつた

鄉軍評議員會

鄉軍新京聯合分會では六日午後七時から記念公會堂にて評議員會を開催する

あす（七日）

▲簡閱點呼第四日、午前八時商業學校
▲滿洲國體育大會兼東洋大會第一次豫選第四日、網球、午前十時、中銀コート
▲秋季第一次競馬第五日
▲北支從軍實見談、午後七時公會堂

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇軍歌の夕（東京）ヴォーエル合唱團▲八・三〇水滸傳「第五夜」（大阪）原節子外

需品局道場開き

警備需品局では局員の心身鍛鍊を圖るため豫て建設中であつた局道場の工事が完成したので五日午後一時より多數局員參列して盛大な道場開きを行つた

里見義郎の漫談と名畫スーヴニール

十一日より新京キネマ開催

懷しの名解説でお馴染みの里見義郎の「漫談と名畫スーヴニール」は愈よ來る十一日より新京キネマにおいて開催されることに決定した、得意の漫談數種に文藝物語りとして「棒蛇」その他を選び「名畫スーヴニール」にも特に同君の名調子にのるべき作品を選定することとなり、目下大連において關係者の手により準備が進められてゐるから、何れ一兩日中に題名發表の運びとならう、映畫ファンの追憶の扉を展らく伴奏入りの「活辯華やかなりし頃」の再現は國都最初の催しとして大きな興味が寄せられる、尚同君は新京キネマ出演に先立ち九日夜より新京放送局から「映畫說明萬華鏡」と題して往年の名畫によせられた美文調の解說集を電波にのせる筈で、これはその儘同君への期待を更に煽ることゝならう（寫眞は里見義郎君）

▽無敵艦隊△

▽英ロンドンフヰルム、エリツヒ・ポーマーがアレキサンダー・ゴルダーの許で製作した映畫で、「米國の機密室」「Gウーマン」のウイリアム・K・ハワードが監督に當つた作品、原作はA・E・W・メイスンの小説により、十六世紀末葉フイリップ二世の統治下にある西班牙の植民地政策に抗して、當時の一島國エリザベス女王の統治下にある英國の戰艦が勢ひ立ち、よく寡を以て大敵を全滅せしめるに至るまでの海洋戰史、勿論これに若い男女の美しい戀物語りが綾となつて織り込まれる、何ろ前記スタッフの顏觸れから見ても想像出來るやうにこれは相當なスペクタクルものであるらしい、主演者はフロラ・ロブソン、レイモンド・マッシー、ローレンス・オリヴイア、ヴイヴイアン・レイ等、豐樂劇場六日封切

戀も忘れて　けふからの長春座

長春座六日よりの番組は左の如く松竹一番線二本にワーナー作品を配した三本立編成である

▽松竹大船「戀も忘れて」清水宏の久方振の作品で桑野通子、佐野周二の顏合せ齋藤良輔のシナリオにより希望を捨てた濱の女の悲しい運命を拾ひ上げて描く抒情詩、爆彈小僧、突貫小僧森川まさみ、石山龍嗣、谷麗光等が助演

▽同京都「實錄小笠原騷動」小林正、井上金太郎の協力したシナリオにより井上金太郎自身が監督に當つた作品、小笠原章二郎、近衛敏明、花房みどり、山上草人天野双一等が主演、名門の御落胤でありながら自らの無器量と小心からあたら地位も戀も失つた男の悲しみの人生を溫いユーモアと滲み出るペーソスの交錯の上に浮びさらせる

▽ワーナー「綠の灯」エロール・フリンとアニタ・ルイズの顏合せする映畫で、若き醫學の徒の使命と戀の相剋を描いたフランク・ボザーギの監督作品

紐育の顏役　けふからの豐樂劇場

豐樂劇場六日よりの番組は左の如く英ロンドン、パラマウント作品を配した三本立編成である

▽パラマウント「紐育の顏役」バーバラ・スタンウイックとジョエル・マクマリーの顏合せする映畫でアルフレッド・サンテルの監督作品紐育の裏街に巣くらふギャングと純情な男女との交錯に綴る戀と仁俠の物語り

▽同「バード少將南極探險」バード少將の第二回南極探險を記錄したもので極地の酷しい自然と鬪ふ探險隊の悲壯な活躍が描かれてある

▽英ロンドン「無敵艦隊」別項參照

さぼてん

曙にゐた、お馴染みの幇間袋一平クン、何を感じたか急轉向して銀座キネマ横小路へトンカツとすき燒の店〃一休〃といふのを開業した、店名が一休とあるのでソモサン、汝タヌキにして豚や牛を賣るとはこれ如何？と問答に及びたくなる、それは兎に角、タヌキの眷族ぢやなかつた、きれいな姐ちやんが集つてのサービス、大に繁昌することだらう、一平クンの挨拶の手紙に曰く……儲て貰れない太鼓持ちが何時までもあがいて往生ぎわの惡いのもあさましき極みと此程逃げ道を苦しまぎれに探しだしましたがはたしてこの逃げ路からまんまと逃げおうせますや否やがおなぐさみ兎もあれ、よろしく御後援を……と、可愛がつて繁昌さしてやつて下さい（寫眞は轉向した袋一平クン）

雜音

豐劇、長春座、銀座キネマ寫眞替り　豐劇は「無敵艦隊」が愈よ登場、題名通りの業績が現はれゝば幸甚▼銀座キネマは「洋上魔」を封切つて新興二番線を配した三本立、「魔像」と「さらば外人部隊」の再登場である▼帝都「ベンハー」の初日はいゝ入り、矢張り「極樂浮草稼業」「一對二」の方が喜ばれてゐる▼「一對二」はメトロ「影なき男」のRKO版、ボウエルとアーサーの夫婦コムビも味があり、探偵ものとしてのサスペンスも仲々巧妙な配置だし、スチーブン・ロバーツの停滯なき監督ぶりを見ては、愈よこの人の死が惜しまれるといつた具合、程度に愉しめる娯樂品である

上半期封切作品

日本映畫……日活、新興キネマ

‖日活系作品‖

▽一月‖多摩川「隣の奥さん」同「細君三日天下」同「高橋是清自傳前篇」京都「栗山大膳」同「白井權八」同「丹下左膳日光の卷」同「お孃さんと浪人」同「極樂花嫁塾」千惠プロ「險の母」現代劇三本、時代劇六本計九本

▽二月‖多摩川「檢事とその妹」同「高橋是淸自傳後篇」同「花嫁べからず讀本」同「戀愛べからず讀本」同「浴槽の花嫁」同「ウチの女房にや髭がある」千惠プロ「修羅山彥」京都「極樂武勇傳」以上現代劇六本、時代劇二本、計八本

▽三月‖多摩川「オリムピツク横町」同「翼の世界」京都「手柄の銀次」同「小市丹兵衛」千惠プロ「修羅山彥後篇」以上現代劇二本、時代劇三本、計五本

▽四月‖多摩川「蒼氓」同「男性審議會」同「悦ちゃん」同「北滿を拓く」同「あゝそれなのに」京都「海賊船」同「お千代年ごろ」同「森の石松」同「呪文字」以上現代劇五本、時代劇四本、計九本

▽五月‖多摩川「母校の花形」同「青い背廣で」同「からくり歌劇」千惠プロ「淺野內匠頭」同「自雷也小僧前篇」同「同後篇」以上現代劇三本、時代劇三本、計六本

▽六月‖多摩川「ジャズの忠臣藏」同「女よ男を裁け」同「お父さんの歌時計」同「裸の街」京都「丹下左膳完結篇」千惠プロ「松五郎亂れ星」京都「恩讐巡禮歌」同「浮名三味線」以上現代劇四本、時代劇四本計八本

‖總計、四五本、現代劇二三本、時代劇二十二本

‖新興キネマ‖

▽一月‖新興大泉「母の花園」同「豪快一代男前篇」同「同後篇」高田プロ「暴風」大泉「脫線令孃」同「町内の看板娘」阪妻プロ「綺羅の源內」寛プロ「鳴門秘帖前篇」京都「自雷也」寛プロ「雪の夜の謎」同「靑空浪士」以上新興現代劇六本、新興時代劇五本、計十一本

▽二月‖大泉「美人國のぞ記」同「開拓者」同「花なき春の歌」同「やきもち會議」阪妻プロ「怒濤一番乘り」寛プロ「國訛道中笠」京都「緣結びの三五郎」同「伊達競艶錄」同「仇討膝栗毛」以上現代劇四本、時代劇五本、計九本

▽三月‖大泉「女の約束」同「初島田」同「女の行く道」同「女よなぜ泣くか」京都「安兵衛俠の唄」同「佐賀怪猫傳」寛プロ「鳴門秘帖後篇」京都「おつる巡禮歌」以上現代劇四本、時代劇四本、計八本

▽四月‖大泉「美人の犯罪」同「愛の山河」同「牡丹くづるゝ時」京都「勤王田舍侍」同「赤城しぐれ」寛プロ「べらんめ十萬石」以上現代劇三本、時代劇三本、計六本

▽五月‖大泉「東京おけさ」同「泣くな鷗よ」同「浮かれ花嫁」同「嬉しい夢」京都「異變黑手組」寛プロ「旅の風來坊」京都「岩見重太郎」同「さむらひ音頭」以上現代劇四本、時代劇四本、計八本

▽六月‖大泉「お龍妖艶記」同「風流五家族」同「熊の唄」同「薔薇の寢床」京都「寺小屋」同「本所七不思議」同「幻の白頭巾」寛プロ「木曾路の謎」京都「吉田御殿」以上現代劇四本、時代劇五本、計九本

‖總計五〇本、現代劇二五本時代劇二五本

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三二〇
發行人 十河榮 編輯人 松本勇忠 印刷人 永越內之介

中央、地方の各將領列席し 劃期的國防會議開催
擧國一致の抗日工作決定

【上海六日發國通】地方各將領の南京招集を機會に蔣介石氏は、擧國一致の抗日工作決定のため國防會議緊急擴大會議を一兩日中に開催する事となつた、地方駐在の武官、委員が全員擧つて列席する擴大會議は國防會議成立以來最初のことで、右會議では現下の時局に對する南京政府の最高方針と抗日軍事方策の大綱を決定するものと豫想される、廣西派巨頭白崇禧氏も既に南京に來り蔣介石、汪兆銘氏以下地方巨頭等と頻繁に往來し時局對策につき種々協議中だが、白崇禧氏の意見最も强硬で、即時對日開戰、徹底的挑戰を主張してゐるといはれその成行は注目される

擧國一致內閣を組織
國府部內の主張漸次有力化

【上海六日發國通】國民政府部內には全國共同して國難に當るとの見地からこの際行政院會議の改組を斷行、擧國一致內閣を組織せよとの主張が漸次有力化しつゝある、しかして右の戰時內閣は行政院長に汪精衞氏を推し、廣西派と妥協、四川とも合作により地域的に支那全土代表を網羅するは勿論、國共合作の趣旨を徹底するため共産黨乃至人民戰線派の代表も包含せしめる方針と傳へられてゐる

"平和北支"の建設へ
冀察地方參議會召集

【北平六日發國通】冀察地方參議會は豫てより民衆の要望を斟酌して召集の議が進められてゐたが、今次の事變を契機に愈よ近く召集に決定した新參議會の指導目標は
一、中央軍の北上反對
二、陸隣自存
三、戰爭の慘禍から北支を免れしめる
といふにあり、召集の曉は宣言などの形に於て右趣旨を明瞭に中外に宣明する模樣である

【北平六日發國通】地方參議會は事變を契機に冀察、平津の兩地方有力者が當局を慫慂召集するに決したもので、召集の曉は時局に關する重大決議をなす筈である、決議の骨子は大體左の如きものといはれてゐる
南京政府が今次事變に中央軍を動員して北上せしめんとするは事實上華北を潰滅せしめ冀察三千萬民衆をして逃れがたき深淵に陷れ人と土地を同時に潰滅に歸せしめんとする毒計に他ならず、北方民衆は中央軍の北上に絶對反對の決意を表明し同時に隣邦との親睦を厚うし、北支をして悲慘なる慘禍より免れしめ永遠に平和境たらしめんことを期す

民衆要望の具現

【北平六日發國通】冀察政權の改組と冀察地方參議會の召集により北支時局收拾の大勢は漸く整はんとしつゝあるが冀察當局が民意機關として地方參議會を創立し、民衆との密接なる合作によつて時局打開に當らんとしつゝあるは鬱積した三千萬民衆の要望に押されて從來の軍閥政治を排し政治の基礎を民衆に置かんとする全く新らしい方向を指示するもので、わが出先當局も新機構の構成とその運用に深甚なる關心をもつてその推移を注視してゐる

天津ソ聯領事館襲擊事件はデマ
ソ聯側一流の惡宣傳

【天津六日發國通】東京駐劄ソ聯代理大使ディーチマン氏は三日外務省に堀內次官を訪問し、日本軍將校の指揮する數百名の白系ロシア人が天津特別第三區のソ聯領事館を襲擊し、重要書類多數を掠奪逃走したと事實無根の筋違ひな抗議を提出し、日本側に一蹴されたが、右事件につき現地日本官憲は勿論領事團も右事件を調査中であつたが、六日に至り左の如きソ聯一流の許し難き惡意の宣傳なることが判明した、即ち
一、事變の勃發した八月一日夜はソ聯領事館のある特別第三區附近の支那警察隊は全部逃亡し、且つ日本軍もなく同地附近は無警察狀態であつたが、ソ聯領事館員は英國租界に全部避難し一名も殘つてゐなかつた
二、日本軍の將校が指揮する白系ロシア人がソ聯領事館を襲擊したのを目擊した者がないが、天津各方面では白系ロシア人か、トロツキストか、或は支那人であるとも言ひ何人が襲擊したのか判明しない
三、某國外交官の如きはソ聯が日頃日支事件に際し、支那を援助する如く公言してゐたに拘らず今回の北支事變には沈默を續け何等支那を援助する如き意思表示をしなかつたので、支那兵が憤慨して掠奪、襲擊したのだとの見解を持してゐるが一般においてもこの觀測が多く事實と思はれる節が多い
四、日本軍において調査したところによると在天津白系ロシア人においてソ聯領事館を襲擊したる者なく、日本軍將校は事件當日全部軍司令部內に非常召集されてゐたので、白系ロシア人を指揮した者なし
五、ソ聯領事館は目下日本軍の一部で警戒してゐる
六、右事件に對しソ聯が日本に抗議する何等の根據なく在天津外國領事團は、ソ聯當局の惡意の言動を一笑に附してゐる
等のソ聯領事館襲擊事件は事實無根なることが判明した、以上の如くソ聯側は從來もしばしばこの種事實無根のデマを捏造し、故意に日本の國際信義を傷けつゝあるは周知の事實にして、今次のソ聯領事館襲擊事件の如きも惡意の逆宣傳であることは想像に難くない、右ソ聯の惡意ある逆宣傳に對し在天津日本官憲は嚴重警戒してゐる

北平各城門開く

【天津六日發國通】日本軍は五日北平各城門占領とともに平常通り開門したが、城門出入者に對しては巡警並に日本憲兵が監視に當つてゐる

通州事件惹起の保安隊
總數五千八百名

【北平五日發國通】通州殘虐事件を惹起した冀東保安隊は教導總隊幹部養成所一千三百名、第一總隊二千名、第二總隊二千名、警備大隊五百名で總計五千八百名といふ驚くべき人員に上つてゐる

通州事件の行方不明死者氏名

【北平六日發國通】六日迄に當局に齎された通州事件の行方不明および死者の氏名次の如し
阿部健一妻スマ（四三）長女繁子（一二）野中高秀次男昇（三）島勝妻ヌイ（四〇）次男昭（一二）五條美奈子（九）總谷タカ（三七）高橋余慶（四二）同妻オトメ（二六）松尾アヤ（二五）小原艶子（二六）石井享（二六）妻シゲ子（二二）馬場サヨ（二一）栗栖義和（二四）永島謙一（三四）妻マスノ（二二）山下磐夫（四五）中島トモエ（二四）岡田助一（四三）松本嘉右門（五六）香川敏雄（三九）秀島秋義（三八）妻マエ（三〇）安田秀一（二七）濱口良二（二九）同文子（二一）竹下靜比古（三九）妻文根（二六）加來俊郎（三一）妻芳子（二六）長男利貞、母シヨリ（五六）河野春子（二〇）安倉貞子（二四）小池義一（六八）內妻山田ムメ（五五）日野誠直（三二）妻智惠子（二五）西本千惠子（三四）渡邊憲（三九）平田武毅（四一）石島戸三郎（三三）妻フジノ（二七）長安文子（七）長男富士夫（五）三村ミツ（三六）奥田重信（二六）松尾龍文（二一）西村禎次渡邊省吾、中村彌太郎（二〇）大賀茂野（三四）木下詳一內妻カツ子（二四）濱田末喜（三二）長男滿洲男（五）長女洋子（二）藤原勝二（三九）池田元高（三五）鈴木郁太郎（三七）內妻木村シゲ子（三二）日吉紀子（二）關嘉市（三四）土井丁（三二）大住勉（二四）藤原長久（四四）石川春夫（四七）吉松喜茂（四二）下村正

張自忠氏 委員長代理辭職

【北平六日發國通】張自忠氏は各方面の反對に居堪らず病氣を理由に五日夜後事を齊元氏等に托して辭職したが、辭職に際し各常務委員に左の書翰を寄せた
宋哲元氏の命により廿九日委員長代理に就任以來國家のため、民衆のため何事も辭せず誠心時局を擔任して來た、現在北平附近の軍事行動は既に停止し秩序恢復し和平の念願は着々實現しつゝあり、今後は政治的に一切を解決し得る事態に至つた、たゞ余が月餘に亘り病氣なりしは諸氏知るところで、最近は身心共に益々不可、時局重大なる際若し施政の齟齬があつては地方民衆に申譯なし、再三熟慮の上大局を過らざらんがためこの際有能の士に會務を讓るに決した

北平市長も辭任

【北平六日發國通】平津一帶の反軍閥空氣に遂に冀察政務委員長代理辭任を決意した張自忠氏は、更に兼任の北平市長をも正式に辭職する決意を固むるに至り近く正式辭任することゝなつた

舊冀東政府首腦が新政府樹立運動
我軍、近く一味を逮捕

【天津六日發國通】舊冀東政府民政廳長張仁　、財政廳長張士遠、建設廳長王廈材、保安處長劉宗紀は通州事件發生の責を負ひ職を辭して罪を天下に謝すべきであるにかゝはらず、厚顔にも去る一日北平に冀東政府北平臨時辦事處を開設、總務廳長張仁　、財政廳長張士遠、交通廳長王廈材、保安處長劉宗紀の顔觸で新冀東政府樹立計畫を發表した、これに對し日本軍當局は彼等の無責任破廉恥行爲に憤慨し近く右四名を逮捕してその責任を糺彈することゝなつた

血迷る保安隊の亂射を浴び斃る
細木中佐、甲斐少佐の戰死詳報

【通州六日發國通大熊特派員發】廿九日未明特務機關を襲擊せる保安隊は約百五十名とみられてゐる、事件發生を知つた細木中佐は表に飛出し冀東政府前に雲集する叛亂部隊の鎭靜につとめたが、血迷へる保安隊は一齊射擊をあびせ即死せしめた上小銃臺尻で目茶苦茶に毆打した、一方特務機關內にゐた甲斐少佐は軍服の上衣をぬぎ日章旗を鉢卷にして押來る敵をなぎたほしたが、力つき遂に奥八疊の間の洋室で軍刀を上段に構へたまま亂擊をうけうち倒れた、生殘つた五名の機關員が死體捜査に行つたときは、細木中佐甲斐少佐ともその軍人の龜鑑ともみるべき壯烈な戰死ぶりにたゞ感泣合掌するばかりだつたといふ、また甲斐少佐は事件發生前通州より天津須磨街の留守宅へ「俺はこゝで戰死する覺悟だ、お前は子供を連れて內地に歸れ」と電話した、既にこの事件あるを豫感してゐたのだらう夫の電話を聞いた夫人は早くより喪服の用意をなし記者が通州に來る四日に出會つたとき「私は覺悟してゐました」と武人の妻としての決心を語つてゐたが十二才の長男は「僕が大きくなつたら敵を討つてやる」と齒をくひしばつてゐた

漢口の情勢不穩

【漢口六日發國通】支那軍は約一萬をもつてわが租界包圍の態勢をとり、陣地を租界周圍に構築して積極的に挑戰的態度を示しつゝあり、わが方もこれに對し防備を固め目下對峙中で六日午前中は情勢變化なし

在邦男子も引揚

【漢口六日發國通】婦女子引揚げに決した當地では事態惡化に男子も六日夜日清汽船でハルクまで引揚げることに決定租界は準備にごつたがへしである

支那奥地向け爲替手形取組中止

【東京國通】支那の排日は漸次激化し來り奥地では日貨の荷捌は殆ど不可能となつたので、正金はじめ爲替銀行では天津、青島、上海、香港向け以外の爲替手形は取組まぬことゝなつた、なほ前記各地向け爲替手形に對しても內地振出し輸出商から不測の損害に對する補償を充分取り、尙なる可く支那人向けで無く在支本邦商店宛を希望してゐる

事變戰死傷者 一、二三八名

【天津六日發國通】支那駐屯軍司令部發表＝今次の北支事變において四日までの戰死傷者左の如し
◇川岸部隊△戰死 將校一二、准士官六、下士官一九、兵一三三△戰傷死 下士官一、兵六△戰傷 將校二五、准士官八、下士官二三、兵三八九
◇河邊部隊△戰死 將校四、准士官三、下士官一〇、兵六四△戰傷死 兵七△戰傷 將校一九、准士官三、下士官二七、兵一五五
◇鈴木部隊△戰死 將校一、兵四一△戰傷死 將校二、兵三△戰傷 將校七、兵一二七
◇酒井部隊△戰死 將校二、准士官一、下士官七、兵三〇△戰傷 將校九、准士官一、下士官一〇、兵（電文不明）
◇その他 △戰死 將校三、下士官二、兵六△戰傷 准士官一、下士官三、兵（電文不明）
◇合計 △戰死 將校二二、准士官一〇、下士官三八、兵二七四、計三四四△戰傷死 將校二、下士官一、兵一六、計一九△戰傷 將校六〇、准士官一三、下士官六三、兵七三九、計八七五 戰死傷者總合計一、二三八

南雲部隊、戒臺寺攻擊

【天津六日發國通】駐屯軍司令部六日午前十時發表＝南雲部隊は八月四日夕刻戒臺寺（長辛店南方約三里）を攻擊し敗殘兵三十名を捕虜にせり

南口中央軍張家口に退却

【天津六日發國通】二日南口に進出した中央軍第百三十二師はその後張家口方面に退却したといはれる、張家口より南口に前進した中央軍は第八十九師の模樣である

天津治安維持會陣容決定

【天津六日發國通】天津治安維持會の陣容は左の如くである
委員長高凌霨、委員王竹林、王曉岩、趙聘卿、張志徵、劉玉書、孫潤宇、方若、沈同午、傅壽、邱玉堂、秘書長劉紹鯤、總務局長孫潤宇、公安局長劉玉書、財政局長張浙州、社會局長王竹林、衞生局長侯毓汶
なほ各局員以下の職員銓衡は五日大體完了したが、更に舊吏員に對し速かに舊職に復歸すべき旨勸告したので、吏員は漸次各舊職場に復歸しつゝあり、市政事務の開始はこゝ一兩日の後と見られる

天津三紡績工場操業開始

【天津六日發國通】天津市內外各方面とも力強い復興の意氣漲つてゐるが、公大第六廠（鐘紡）裕豐（東洋）伊藤忠（天津）の三工場は六日より操業を開始した、右により三工場職工約六千その家族約二萬の生活は保障されるに至り治安維持上にも好影響を齎してゐる

通州事件における我が戰死傷者

【通州六日發國通】保安隊叛亂事件のわが軍戰死傷者左の如くである
▲戰死 警備隊十一名 步兵中尉藤尾心一、同上等兵柏原朝雄、同一等兵大谷春夫、同大久保立夫、同藤原行雄、同二等兵野本將勝、同松田平八、同千秋喜久雄、同鈴木理一郎、同坂本源吉、同高山幸三郎、運轉手石河照雄、（特務機關廿三名）步兵中佐細木繁、同少佐甲斐厚、囑託田中一男、同今岡逸治、同島田不朽郎、同村尾正彥、同渡邊省吾

在通州日本人五名生存

【北平六日發國通】通州事件發生以來八日を經過する今日姿を見せなかつた島田勇（三六）同妻アイ子（二八）の兩名は一週間自宅の床下に潜んで無事なることゝ判明した、本一子（二九）松山コミノ（三六）樹濟瀧乃（二二）の三名も生存してゐる

順義保安隊叛亂
長谷川部隊寡兵奮戰

【通州六日發國通】順義警備のわが長谷川部隊は廿九日午前三時頃通州と同樣叛亂保安隊の襲擊をうけ、寡兵をもつてよく應戰、敵に多大の損害を與へたが、我方も左の犧牲者を出した
▲戰死 步兵上等兵廣瀨正雄、同一等兵鹿尾寬太郎、同吉澤忠信、同二等兵飛來信義、同中野文雄、同川上正雄、顧問菊地留雄
▲戰傷 重傷步兵一等兵藤澤啓作、同鈴木新太郎、同谷澤正一、輕傷同二等兵渡邊國太郎、同勝野猛

冀察政務委員會合議制を採用

【北平六日發國通】張自忠氏の辭職後冀察政務委員會は委員長制を廢し常務委員齊元、張允榮、張璧、賈德耀、李恩浩の五名の合議制により負責處理することゝなつた、齊元氏と賈德耀氏は以前より常務委員、李恩浩氏は經濟委員會主席より新たに轉出したものであり、張允榮、張璧兩氏は去る三日委員に選出されたばかりである

高山主事公主嶺地事庶務係長に榮轉

滿鐵新京支社地方課社會主事高山八十八氏は今次異動で公主嶺地事庶務係長に榮轉した同氏は昭和十一年三月前社會主事野村茂理氏の後を襲つて現在の椅子を占め爾來一ヶ年餘國都の福祉事業、市民の精神陶冶に貢獻すること尠からず今回の榮轉は各方面から痛惜されてゐる（寫眞は高山八十八氏）

地方係長後任 宇野氏就任か

附屬地移讓を目睫に控へ滿鐵地方部關係社員の第二次異動は五日附發表された、新京支社地方課からは多年附屬地行政に功勞あつた稻葉庶務係長が遼陽地事所長に岸水地方係長が本溪湖地事所長にそれぞれ榮轉、その後任に就いては未だ發表されないが庶務係長は庶務課庶務係主任が兼務し地方係長には多年公費主任で敏腕を揮ひ移讓委員會に轉じてゐた宇野太郎氏が就任するものと見られてゐる

人事往來

▲井戸川一氏（營口稅關）六日來京國都ホテル
▲安滿俊行氏（營口稅關監視科長）同
▲富田等氏（滿洲國官吏）同
▲井上四郎氏（營口稅關）同
▲高增周作氏（同）同

其の出處進退定かならず絶えず反蔣運動をつゞけて來た白崇禧遂に參謀總長の餌に釣られたか御輿をあげた▼再三の南京よりの招電にも言を左右にして應じなかつた彼ではあつたが事態は次第に擴大し▼支那の一大危機に直面しては小乘的な軍閥的利己心により蔣と對峙してゐる秋でないことを悟り▼自己のある程度の不滿を抑壓して南京の希望に副ふに到つたと見る向もあるがその眞疑は兎も角▼蔣の肚は北支事變を全國的全體的問題と宣傳し河北に於ける對日戰備に關しては長期持久戰の策を講じ▼第一線には厄介者の雜軍を配備して日本軍に當らしめ直系の精銳なる中央軍は隴海線黃河沿岸の固めに當て漸次戰線を有利に導かんとするにあるらしい▼支那全體の危急存亡と稱しながら自己保全に汲々たるこの作戰が果して圖に當るかどうか▼若し見事成功すれば手手拍子喝采といふところだらう

社說

支那共産黨の戰術

一

今年に入つて支那國民黨と共産黨との妥協は明白な事實となつて進行し來つた。今次の北支事變は、ますますこの兩黨の協力を進行させるに至つた事が察せられる。この際支那共産黨が國內的に、また對外問題に於いてどのやうな政策を最近取つて來たかを見る事は、支那の今後の動きを觀察するのに見逃し得ぬところであらう。」

二

支那共産黨の新戰術が決定されたのは一昨年の夏であつた。その新戰術は、支那に於いて國防人民政府を樹立し、抗日聯合軍を結成して抗日救國を行ふこと、それを最も主要な共産黨の任務であるとした。斯くて蔣介石一派を排擊しつゝ、全支民衆の一致結束による抗日救國といふ事を强調し、これは全支學生、知識階級層に影響を與へて救國會系の抗日人民戰線の指導原理となつて來た。支那共産黨の抗日統一戰線とは、黨派、階級、老若、貧富を問はず一切の舊怨を忘れ、小異を棄てて抗日救國の旗のもとに協力一致することを意味する。從つて共産黨年來の主張たる階級鬪爭を停止し、土地政策を放棄し、且つ一切の國內戰爭を禁絕せんとするものである。斯くの如きは共産主義の自殺と考へられやうが、それも半植民地支那、被壓迫民族國家支那に於いては不可避的な段階であるとする。この主張が漸次全支學生並びに知識階層の支持を得、國民黨の共産黨に對する壓迫と中央軍の共産軍に對する攻擊とを緩和するに役立ち、遂に國內戰の停止から更に進んで國共兩大勢力の再合作にまで發展したものである。それは表面的には共産黨並びに共産軍の屈服のやうに見える、が實質的には共産黨側の巧みな戰術を以てしての進出であるとすべきである。」

三

この共産黨の抗日は、積極的な挑戰を本格的方策とするものではなく、抗日戰は必ず自衞戰、抵抗戰なるべしとしてゐるのは注目すべきである。要塞、堡壘、海岸主要地點等を當初占領されても恐れる必要はない、擴大なる土地と無限の富源と四億の民衆とを擁する支那は開戰當初に蒙る損害を可及的少くし且つ兵力財力に限りのある日本をして奔命に疲らせ經濟的に破産せしめるために消極的な消耗戰に出るべきであると彼等は主張してゐる。この間反ファッショ列國の支持をも得、小國並びに被壓迫民族との聯繫をも强化し得ると說く。だが國共兩黨の間には依然として覇權爭奪が起らう、國內統一は先づ此處から破綻を來しはせぬか、これらの問題については彼等は默してゐる。實際の事態が果してどう展開するか、われらはこれを注視しやう。

石炭液化事業の一翼に合成燃料

株式組織なり創立總會

滿洲油化工業の四平街工場、滿鐵の撫順工場と共に滿洲國における石炭液化事業の一翼をなす滿洲合成燃料株式會社設立に關しては、滿洲國政府を中心として着々準備を進めてゐたが、この程會社法を公布、六日午前十時より中銀俱樂部において設立委員會及び創立總會を開催し、定款、人事及び株式割當を決定、こゝに愈々同會社の創立を見た

同社は新京に本社を設置、事務所は當分特産中央會新舍屋內に置き東京室町の三井鑛山內に支社を置く、工場は阜新に設け阜新炭を原料として石炭液化事業及び副産物製造を行ふ、工場建設及び經營には三井が當り、工場建設は今夏より直ちに着手、來年末には三萬噸、來々年には十萬噸の液體燃料を生産する豫定である、同社の出資內譯及び役員左の如くである

△資本金總額五千萬圓(第一回拂込五分の一)

△出資內譯

滿洲國	一千七百萬圓
三井	一千七百萬圓
滿炭	八百萬圓
滿鐵	五百萬圓
滿石	三百萬圓
計	五千萬圓

△役員

理事長 三井鑛山會長 尾形次郎

常務理事 産業部囑託 多久芳一

三井鑛山鑛務主事 田中吉政

理事 滿炭常務 栗野俊一

滿石專務 佐藤健三

三井物産石炭部長 山本定次

監事 滿鐵監査役 星野龍男

元三江省民政廳長 趙汝楳

燃料會社定款

六日の滿洲合成燃料株式會社創立總會に於いて決定せる同社定款左の如くである

滿洲合成燃料株式會社定款案

第一章 總則

第一條 本會社は滿洲合成燃料株式會社と稱し康德四年勅令第二百十七號に依り設立す

第二條 本會社は左の事業を營むを以て目的とす

一、瓦斯合成法に依る液體燃料の製造及販賣

二、副産物の加工及販賣

三、前各號に附帶する業務

第三條 本會社は本店を新京に、支店を東京市に置く

第四條 本會社の資本の額は五千萬圓とす

第五條 本會社の公告は政府公報に掲載して之を行ふ

第二章 株式

第六條 本會社の資本は之を百萬株に分ち一株の金額を五十圓とす

第七條 株式は總て記名式とし、株券の種類は一株券、十株券、百株券、千株券及萬株券の五種とす

第八條 株式の第一回拂込額は一株に付十圓とし、第二回以後の拂込時期及金額は理事會の決議をもつて之を定む

第九條より第十四條まで略

第三章 株主總會

第十五條 株主總會は定時及臨時の二種定時株主總會は毎年五月及十一月に之を招集し、臨時株主總會は必要に應じ之を招集す

第十六條より第十九條まで略

第四章 役員

第廿條 本會社に左の役員を置く

理事長 一人

理事 五人以內

監事 三人以內

理事會は理事の中より常務理事二人を選任す

第廿一條 理事長、理事及監事は株主總會において之を選任す

理事長及理事の任期は四年とし監事の任期は三年とす補缺選任により就任したる役員の任期は前任者の殘任期間とす

第廿二條より第廿四條まで略

第廿五條 理事會は理事長常務理事及理事をもつて之を組織し、會社の重要なる業務を決議す

理事會の議事は過半數をもつて之を決す、可否同數なるときは議長之を決す

第廿六條略

第廿七條 役員の報酬及手當は産業部大臣の承認を受くるものとす

第五章 計算

第廿八條 本會社は一年を二營業期に分ち、四月一日より九月卅日迄を上期とし、十月一日より三月卅一日迄を下期とし各其末日をもつて決算期とす

第廿九條略

第卅條 本會社の利益金は毎營業期における總收入金より總經費、諸損失金、資産の償却費及從業員退職慰勞積立金を控除したる殘額とし、左の通り之を處分す、但し決算の都合により別途積立金及後期繰越金を爲すことを得

一、法定積立金 利益金の百分の十以上

二、役員賞與金 若干

三、株主配當金 若干

第卅一條 株主配當金は決算期現在の株主に之を支拂ふものとす

前項の配當金は支拂開始の日より起算し、滿五ヶ年間請求せざるときはその權利を失ふものとす

附則

第卅二條 本會社の設立費用は六萬五千圓以內とす

愈よ英佛の兩國

エチオピア併合承認か

宰相間に信書來往頻り

【ロンドン四日發國通】英國首相チエンバレン氏は去る七月卅日ムソリーニ首相に信書を送り英伊關係の改善を慫慂し歐洲外交界にセンセーションを起したが、デーリー・テレグラフ紙四日の報道によれば、ムソリーニ首相はこれに先立つ數日前ヒトラー總統に同樣の信書を寄せ

英國がイタリーを攻擊する場合、ドイツはイタリーを支持するとの意向を宣明されたい

旨要請したと傳へられる、右ムソリーニ首相の信書に對しヒトラー總統は折返し少くともスペイン不干涉問題に關する各國政府の態度がはつきりせぬ間はかゝる意向宣明は不得策と考へる旨回答したが、更にヒトラー總統は卅日新しく信書をムツソリーニ首相に送り、ドイツ政府は銳意兩國政府の緊密な接觸を歡迎する旨を補足したと傳へらる、英外相のムソリーニ首相宛の信書はム首相の獨總統宛の信書に刺戟されて急速發送されたものと傳へられるが諸般の新情勢を綜合するに英佛兩國政府は新英獨佛伊四ケ國條約による平和體制確立を機としこれがためには結局イタリーのエチオピア併合承認も止むを得ずとするに至る形勢にあるものと解される

弘報會議

六日軍人會館で

滿洲國政府では情報宣傳機關の機構改革に際し、兼て刻下の重大時局に對處するため國務院弘報處主催の下に、六日午前九時より日滿軍人會館に各省公署弘報主任者並に弘報協會、國通、協和會等の各機關代表者の參集を求め第一回弘報會議を開催した、開會劈頭星野總務長官より別項の如き訓示あり、次で堀內弘報處長その他の指示あつて議事に移つたが、七日も引續き續開の筈

星野總務長官の訓示

茲に弘報會議に臨み諸官の壯容に接し所懷を述ぶるは本職の最も欣快とするところなり、惟ふに國家において情報宣傳業務の必要なるは茲に贅言の餘地なき處、殊に我滿洲國はその成立の歷史と國民の習慣とより見て特にその必要を痛感するものなり、こゝにおいて先般の機構改革において情報處を擴充强化して弘報處となし、さらに地方各機關に弘報主任者を設けて本業務の整備充實を期したり、冀くは諸士協力もつて一方に民意の趨向を未發に知つて爲政各機關に對し施政の糧を供給するとゝもに國家の施政を遍く宣傳し、民をしてその向ふ處を知らしめて官民一致建國理想の達成に協力するに至らしめもつて本改革の主旨を徹底せしめられんことを切望す、時下時局多端一日の偸安を許さず願はくは自重自愛もつて奉公の誠を致さんことを、一言をもつて訓示となす

米國新建艦計畫

米リー提督發表す

【ワシントン四日發國通】米國政府は既に一九三七年度において三萬五千噸級主力艦二隻の建造を開始したが、海軍作戰部長リー提督は四日新聞記者團に對し米國海軍は一九三八年度において更に新主力艦二隻及輕巡洋艦二隻を建造する計畫ある旨を發表した

普濟會を中軸に

滿洲赤十字を創設

日赤合併につき折衝中

康德元年三月皇帝陛下の登極に際し百萬圓の御下賜金を拜受して創設された恩賜財團普濟會は、今日まで滿二年餘全滿各省に亘つて醫療施業を行ひ民衆の厚生に盡力して來たが最近政府の關係首腦部間に同會の改組案が擡頭し厚生機關として更に一段の實を擧げるため、同會を中軸として滿洲國赤十字社創立問題が漸く具體化せんとしてゐる

即ち滿洲側は現在滿洲に活動してゐる日本赤十字社滿洲支部を滿洲赤十字社に合體せしめ、滿洲國內から日赤の事業を繼承する意向を有し、既に兩者間に內々折衝が進められてゐる模樣であるが、これが實現の曉には滿州三千萬民衆の福利が大いに增進されることゝなるので、一般から非常に期待されてゐる

滿洲國体聯評議員會

滿洲國體育聯盟では六日午後三時から記念公會堂にて評議員會を開催、役員改選規約一部改正等を行ふはず

日滿連絡旅客機 香取號大破

【羽田國通】五日午前七時三十分日本空輸日滿連絡特急便旅客機香取號(操縱士細川優機關士高橋三郎)が羽田飛行場格納庫前から機首を北に向け滑走し離陸約五十メートル上昇した際折柄の北の强風に煽られて右翼を格納庫橫の吹流塔に打突け左翼を事務所の食堂に叩きつけ右翼は折れ左翼は大破したが、その際北海道定期飛行機を待つてゐた日本橋區通り二丁目六小坂ビル內德壽工作所荏原區上神明町二九二命尾壽次氏(四八)は顏面に二週間の打撲傷、同氏の五男興壽君(七)は即死、長男壽一君(一八)は口、手足に二週間の裂傷、三男昌壽君(一二)は右手に一週間、四男達壽君(一〇)は顏面に三日間の何れも裂傷を負ひ蒲田大月病院に收容手當中であるなほ「香取」號は操縱士の機敏な處置により辛くも着陸同機乘客和歌山縣選出松山常次郎代議士ほか四名は何れも無事同十時二十分發「那須」號で福岡に向つた

保健社會省

愈々十月一日店開き

【東京國通】第二次北支事件費を除く一般經費に關する追加豫算案(第二號、第三號)はいよいよ六日午後の貴族院本會議で可決の上成立を告げ近衞內閣が組閣以來應急の政策として豫算に計上したものは無事兩院の協贊を得ることとなり、今期特別議會召集の本來の使命はこゝに達せられたわけである、本追加豫算中保健社會省豫算の通過は何といつても現內閣唯一の重要國策が無疵に實現をみたものとして注目され、政府においては今議會終了とゝもに保健社會省官制案の準備を急ぎ、九月には樞密院の御諮詢を奏請した上十月一日を期していよいよその店開きをなす段取りとなつた

南滿の水害により

減收見越懸念

大豆早くも强調

第一回農産物收穫豫想は作付面積の增加と作柄良好に前年實收より約九%の豐作豫想が傳へられたが、相場面には既に織込濟とて收穫豫想による特別の動きは見られず、五日新京取引所大豆八月限は奧地筋の陽氣配に六圓四十八錢と小甘に寄付き後大連輸出筋の買出動が傳へられ五十二錢に引けたが、今朝寄付は南滿の水害による減收見越が懸念され、六圓五十五錢と三錢高に寄付き、後大連輸出筋の買出動が報ぜられて五十七錢と上伸、早くも目先强調を呈した

岡村部隊の掃匪狀況

【〇〇六日發國通】岡村部隊本部發表

一、佐伯部隊の白川隊は七月廿四日通河縣々城西方二十キロの地點で匪團を攻擊しこれを潰走せしめたが、佐藤米松二等兵輕傷

二、後藤部隊の小野隊は廿一日午後七時卅分方正縣太平溝附近に於て約二百の合同匪團と遭遇、交戰約一時間半にしてこれを潰走せしめたが、山田芳雄伍長は負傷

三、後藤部隊の波多江隊及び肥田野隊は七月廿八日正午方面縣方正西方の地點に在る合流匪約百五十と交戰之を擊退したが本戰鬪に於ては直壁賢吾二等兵負傷

四、佐伯部隊の松蒲隊は八月三日午前八時方正西南方に於て百餘名の匪團を攻擊、これに大打擊を與へたが渡邊義德上等兵負傷

「肉彈記者」映畫化

【東京國通】軍事映畫の猛撮影を行つてゐる新興大泉撮影所ではさらに今度北支ニュースの報道に第一線に活躍する從軍記者の勇猛果敢な活動を描く「肉彈記者」の製作を決定した、これは死の通州脫出を敢行した同盟の安藤特派員通州の激戰に戰死した朝日の岡部特派員、廣安門激戰に活躍した東日の本田特派員その他各社特派員ならびに在平津の新聞記者の決死の從軍行を描いた勇壯篇でシナリオは陶山密、監督は大山三郎で近く撮影を開始する

巡査採用試驗

二十名採用

關東局募集の巡査採用試驗は新京、奉天、大連各警察署に於て五日一齊に行はれたが、新京署の應募人員は百十名で五日午前八時より同署講堂に於て試驗が開始され、午前中の學科試驗をパスした者六十六名に對し午後一時より身體檢査及關東局松藤警部によつて口答試問あり、嚴密なる查定の結果、應募者の二割弱二十名が採用に決定した

折重つて隊長を庇ふ

部下の心づかひ

五ノ井隊長の奮戰談

【天津五日國通特派員發】各地における戰鬪に輝かしい武勳をたてゝ傷ついた皇軍將士を記者は病院に訪ふ、各室共傷兵に與へられ片足を切斷された者、左手でやつと手紙を書いてゐる者、顏面に傷ついた者、左右の勇士の面影は當時の武勳を物語つてゐる、ふと廊下に血の滲んだ白布を額に置いて、困難な步行にも元氣一ぱいで他の病室に行く勇士と會つて、よく見れば輕傷どころか郞坊攻略から南苑攻擊に奮戰、眉間と腰部八ヶ所を手榴彈の破片を浴びた鬼隊長の稱ある五ノ井部隊長だ、同じく傷ついて病床に呻吟してゐる部下の安否を氣遣ひ部下の病室は何處だと搜し求めてゐるところだつた、以下は鬼隊長の談話である

五ノ井部隊は二十八日午前九時半頃南苑、西苑各攻擊の任務を受け左翼の小鉢部隊に呼應突擊を敢行し敵陣の幅、深さともに三メートルの塹壕に飛び込んだが、その塹壕に足がかりが一つもなかつたので已むなく劍をとつて足がかりを作り敵前に攀り後から續々登つて來る部下とゝもに敵陣に躍り込み、敵の二、三を切つた瞬間目の上に熱いものを感じ塹壕內に落ちた、鞄から白布を出さうと思つてゐると手榴彈を五、六個投げ込まれ腰部に負傷したやうだつた、部下は上から折り重なつて自分を庇つてくれた、自分に構はず突擊せよと言つたが、部下の心遣ひに思はず泣けて來た、小鉢部隊の中でも降りそゝぐ敵の手榴彈をすばやく拾ひ上げ敵陣に投げ込むのを見た四ツ五ツ炸裂に遭ひ戰死した人もゐたが實に壯烈の極みであつた、彈丸の降る中にあつて重傷の身も忘れ隊長を庇ふ部下の心遣ひは一生忘れられない

悲しき讀經裡に

通州犧牲者假埋葬

【通州五日國通特派員發】事件勃發から今日まで恰度八日目、後から後からと掘り出される死體の發見は何時となつたら終るか見當もつかない、四日は城門の泥沼の中から三十四體が引揚げられこれで邦人の發見屍體は總計百五十九體となつた譯だ、しかし全居留民三百五十名から見ると、まだまだ澤山の生死不明者が殘されてゐる、昨日も午後三時から通州保安隊の前庭で、これら非業に死んだ邦人の假埋葬がすゝり泣く居留民、皇軍將士等の手でしめやかに行はれた、夫を失つたもの、夫と子供を同時に失つたもの、親を失つた少女、親に先立たれけなげにも同胞の屍體を埋める手傳をしてゐる牛島の靑年等の姿は悼ましくてとても正視出來ない、式に參列した福岡縣三池郡玉川村出身勝立國三郞氏の娘中島辻子さん(二三)は慘劇の思出をぽつりぽつり次の樣に記者に語つた

私は冀東銀行の宿舍に住んでゐた唯一人の日本人です、その夜銃聲と共に澤山居つた銀行の支那人にどうか連れて逃げて下さいと手を合せて賴んだのですが「お前は日本人だから駄目だ」と私だけを殘して逃げてしまいました、しかたなく私は夜明け迄隣家の塀によぢ登り屋根の上にピッタリくつついてゐました、ヒューヒューと身邊をかすめる鐵砲の音が激しくあんな恐しかつたことは生れて初めてです、夜明け近く下に降りて今度は裏庭にあつた塵箱の中に二日二晚身動きもせずに隱れてゐました、三日目の晝頃表戶を叩く音日本語らしい呼び聲に、未だ不安でしたが、どうにでもなれと、やつとはひ出して日本の兵隊さんに助けられました

語り終つた辻子さんは、わつとその場に泣き伏した、今度の事件で、日頃昵懇な支那人の家に逃げ込んだものは殆ど全部密告されて虐殺されたのだ、埋葬の終つた頃南向に設けられた形ばかりの祭壇に向ひ記者と共に北平から最初に通州入りをした本願寺大谷照乘師及び北平本願寺の福澤、光岡師等の讀經の聲が炎天下の野に響き、遺族や生存者の目からは又新しくとめどなき淚が溢れるのであつた

事務長會議日程

協和會康德四年度第二次省本部事務長會議は六、七の兩日中央本部會議室で開催するが會議日程は次の通り

第一日(午前八時開會)

一、中央本部長訓示

二、本年度上半期各省本部工作概況報告

三、中央本部指示並に道路事項に關する協議

第二日(午前八時開會)

一、各省本部明年度工作實施計畫案並に經費豫算案說明

二、各省本部提案事項並に希望事項に關する協議

三、政府その他各機關代表との懇談

關東軍取扱獻金

三千圓市商會長王荊山、百圓千代田生命奉天支部職員一同代表田井信行、百圓ミヤコビル內エリヒ・ハイゼ、十圓同小寺常喜、三圓十錢谷本藥房店員一同、二十錢西谷文子、四十圓日白女子大學櫻楓會奉天支部有志一同代表鈴木いと忠堯、三圓七十九錢市川靜子二十五圓公和會員一同代表張十圓東亞防火研究所社員一同代表古川壯一郞、十圓田中義人、三圓二十五錢近藤清人、マリコ、五圓五十五錢池田膠平泰昭、十圓元翙常、二十圓坂本常吉、一圓五十五錢石黑秋子、一圓六十一錢石黑忠久表藤貞夫、一圓七十錢松岡欽一、二百圓早川亘、二百二十九圓五十錢朝日町內會員一同代表平田嚴一郞、十二圓淺田又三、五十圓中山鋼業所從業員一同代表林岱之、一圓二十一錢笹本八重子、十圓品川正雄、三圓十六錢高橋和子、一圓四十錢高橋進、十五圓大星ホテル從業員一同代表小池眞男、二圓大野俊夫、五圓石田古登治、二圓四十三錢小島晧五圓白倉スミ、六圓矢部妙子三圓七十錢奉天彌生小學校瀧本學級一同、五十錢奉天鍼灸按師會一同代表平田宗德、三十圓七福屋百貨店從業員一同、五千圓天理教奏教會內靑年會、婦人會一同代表片岡キヨ、五圓石明濟、三十圓清水富壽、十五圓サツキカフヱー帳場女給一同代表平川吉三郎、五十圓天泰號酒井半三十圓天泰號店員一同、三圓五十錢古賀吉夫、林隆三郎、酒井仁、一圓匿名、二圓匿名、十七圓三十錢札蘭屯在留白系露人、十圓赤峰文廟小學校鹿島十郎、百圓龍江省訥河專賣局馬策勳、姜恩孚、趙玉珍、軒臣零賣所陳永勵、王永軒、夏兆武、王沛然、二百圓朝陽縣城內二井林增英、十五圓同二井林梅子外十四名、四圓三十五錢大城昇長女初枝、三圓一牛島人、二十三錢杉山讓二一圓五十錢島川悅子、十圓小川とめ、十圓寺澤妙子外二名、五十圓東蒙貿易股份有限公司、五十圓管野運七、二十圓牡丹江太陽公司堤貞治外三名、十一圓五十錢同岡本しめ子、三十圓齋藤五郞外從業員一同、三十圓田淵キヨ、三十圓同仲居一同、三百八十圓滿人側代表杜景芳、韓宏、露人側代表馬孟托夫、葛羅斯滿、勞働若代表伊福田、十圓朝日寫眞館七圓五十錢新京金融會職員一同、二十圓割烹山粹及從業員一同、百圓新京取引所現物取引人組合、二百圓新京取引所取引人組合一同、三十七圓沖津醫院一同、二十圓增崎智子三十四圓國道警備員中篠善藏外十六名、百圓將校婦人會奉天支部、八圓五十錢奉天居留民會長、二十圓山本ウメノ、七十七圓北支山海關城內西關商會、二百圓吉林蔬菜組合、五十一圓吉林七經路金世元、合計七千三圓〇八錢

新京署扱ひ 皇軍慰問金

六日新京署扱皇軍慰問金、國防獻金者は左の如くである

▲百圓、三笠町三丁目十三番地料理店有明樓主林承王氏は毎年墓參のため歸鄕することにしてゐたが今次の北支事變勃發に當り皇軍の奮戰に感激して歸鄕をとり止めその費用を獻金した

▲二十圓、旅順高女四年生田代英子さん、白菊小學校五年生田代和子さん、二人の姉妹は平素兩親から戴く小遣ひの殘餘を貯畜してゐたものを皇軍慰問金として

▲五圓五十七錢、錦ケ丘高女二年生笠原美津子さん、同黍野幸子さん、室町校三年生牛山嘉代子さん、右三人は近所に住む友達同志であるが、時局に感激して獻金を思ひ立ち造花を製造してこれを吉野町方面の街頭で賣つた金を慰問金として

▲一圓二十錢、吉野町一丁目廿六番地丸平洋行店員一同

▲三圓、特別市崇智路一〇六北村イワ代さん

商況欄 (八月六日)後場

株式相場

●大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	一五一、七〇	—
豆新	一九、五〇	—
東新	一六六、八〇	—
滿鐵	五五、五〇	—
同新	四四、五〇	—
日産	七一、七〇	—
鐘新	一三三、五〇	—

●奉天株式(短期)

銘柄	寄	引
滿取	一〇、〇〇	—
東新	一八〇、一〇	一三九、七〇
日産	—	七三、六〇
鐘新	一三四、〇〇	—
五品	一五、七〇	—
豆新	—	—
滿鐵	五六、一〇	—
同新	四四、八〇	—
電甲	四〇、五〇	—
滿毛	—	—
日晉	六六、〇〇	—

手形交換高(六日)

五六四枚 五八六五、八九三、八八

鮮魚小賣相場(八月六日)

品名	最高	最低
活鯛	…	…
氷鯛	…	…
中小鯛	…	…
小エビ	…	…
車エビ	八八	…
ヒラス	…	…
マナ	…	…
マス	二七	二三
サワラ	…	…
スズキ	二五	二三
ニベ	三五	二三
アジ	…	…
サバ	…	…
赤ムツ	…	…
アコウ	…	…
メバル	…	…
アブラメ	…	…
鰺	…	…
タコ	…	…
水蛸	…	…
飯蛸	…	…
紋甲イカ	…	…
甲イカ	…	…
小イカ	…	…
ヒラメ	…	…
カレイ	…	…
星カレイ	二〇	一七
グチ	…	…
小市	…	…
ボーボラ	…	…
カナガシラ	…	…
コノシロ	…	…
コチ	…	…
オコゼ	…	…
ハゲ	…	…
キス	…	…
サンマ	…	…
太刀魚	…	…
アナゴ	…	…
ハモ	…	…
赤エイ	…	…
ウナギ	一一〇	一〇〇
アリビ	一二〇	一三〇

けふの天氣 北の風 曇模樣

日の出 前五時三三分

日の入 後七時五五分

月の出 前六時一七分

月の入 後八時二二分

氣溫 最高 二八度四 最低 二一度一

家庭

"暑い暑い"ぢや困る

涼を求める最良の方法は 盛に汗を出すこと 入浴や行水もよい

▼マ…私達が 寒暖計とにらめつこしながら暑い／＼といふのはそこに根本的の錯誤があります。人間が暑いと感じるのは單に溫度が高いからといふばかりではなく、濕度が高いことに大きな關係があるのですから

▼マ…濕度が高いといふ事は俗にいへば蒸し暑いといふ事で空氣中に水蒸氣が多いために、皮膚の水分の蒸發を妨げられ皮膚の表面の熱が發散されぬため暑さを感じるのです風に當ると涼しいといふ事は皮膚の表面の水分を蒸發させて熱を奪はれるからなのです

▼マ…米國で ある夏華氏百五十六度といふ時がありました。ちよつと日本では想像のつかない高溫度ですがその割に暑さを感じなかつた、といふのは米國は空氣が乾燥してゐて濕度が低いためで百五十六度も日本の九十二三度位の感じでした。最も汗は皮膚の表面からブツ／＼吹き出る有樣ですが木蔭にでも居やうものなら實に涼しい。

▼マ…即ちこの汗を出すといふ事が凉を求むる事の重大な一手段なのです。汗を出して皮膚の表面の蒸發を盛んならしめ熱を發散するこれなのです。これがためにはどし／＼水を飲んで汗の出を容易ならしめる。

▼マ…大體濕度が高いと皮膚の水分蒸發が不完全になる結果は新陳代謝が惡くなり、食慾減退をも起す結果體が衰弱して更に暑さを感ずるもので我々は暑さにめげず大いに働き運動し一方しば／＼入浴、行水を行つて汗を出す事に努力する事が必要であり涼を求むる最大の方法であります。

▼マ…行水は 汗を出す以外に凉を求むる効果があります。即ち熱い湯を浴びる事によつて血管運動神經に刺戟を與へ一時これを擴張させ皮膚の表面に血液を充たして熱を持たせ直ちに行水を終る事によつて血管運動神經を急激に收縮させ血液を皮膚の表面から取り去ると同時に熱を去らせる方法で涼しさを感ずる。熱い湯に短時間入つて出る事も同じ理論で凉を求むる方法の一つであります。

自然の美を發揮さす 顔面マッサージ

▲▲▲非常時婦人の整容法

整容は婦人日常のたしなみとして忘れてならないことですが、化粧法などもあまりに人工的に走つて、自然の美しさを殺してしまつてゐる婦人の多いのは惜しいことです——殊に今や日支の風雲急を告げて、非常時の色ます／＼濃くなりつゝある時、化粧もまた健實を眼目としなければなりません。剝げる人工的な美しさよりも、剝げない自然の美しさ——換言すれば健康美を一日も早く獲得すべきです。これが唯一の非常時整容法です。その爲に顔面マッサージをおすゝめします

第一 兩手の四指（拇指の外の四指）の先きを額の眞中にあて輕く五、六回外方に向けてマッサージします。

第二 兩手の四指の腹を上まぶたにあて拇指を頬骨の下の處にあてます。そして四指の腹で上まぶたを輕く五、六回マッサージします。

第三 兩手の人差指を眼の下にあて拇指を頬骨の下のところにあてます。そして人差指で眼の下を輕く五、六回外方に向つてマッサージします。

第四 右掌を左の頬に左掌を右の頬にあて、下の方に向つて五、六回輕くマッサージします。

第五 兩手の拇指をあごの下にあて兩人差指で鼻の兩側を下の方へ向つて輕く五、六回マッサージします。

第六 前と同じく兩手の拇指をあごの下にあて兩方の中指で鼻梁を上から下へ輕くマッサージします。

第七 一本の中指で上下の唇を圓を描きながら五、六回輕くマッサージします。

第八 兩掌であごの下の處を廣く下方へ向つてマッサージします。

第九 兩手の親指と人差指で耳翼を上から下へ揉むやうな心持で輕くマッサージします。

第十 耳の穴に左右の中指を入れて二、三回振るはせ急に拔きます。

第十一 最後は襟足のマッサージです。頭を一方に傾けて襟足の皮をのばしてマッサージ面を廣くしてから片手の四指（拇指を除いた四指）の腹で襟の上の方から下へ向つて五、六回輕くマッサージします。他の側も同樣です。

ラヂオ

けふの番組

（M・T・O・Y 新京 放送局）七日（土曜日）

朝

六、二五 ニュース（東京）
六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇 中等滿洲語講座（大連）講師 秩父固太郎
七、一五 朝の音樂（大連）
七、四五 建國體操（大連）
八、〇〇 氣象通報（大連）
九、三〇 經濟市況（東京）
一〇、〇〇 家庭講座（奉天）
一〇、二〇 料理獻立（大連）
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、四〇 經濟市況（大連・新京）
一一、三五 經濟市況（東京）
一一、四〇 經濟市況（大連）

晝

一一、五九 時報（東京）
〇、〇〇 ニュース（東京・新京）
〇、〇五 晝の演藝 レコード
一、〇〇 經濟市況（大連・新京）
三、〇〇 經濟市況（大連）
三、四〇 經濟市況（東京）
四、〇〇 ニュース（東京・新京）
四、三〇 經濟市況（大連）
五、二〇 ニュース（鮮語） 民謠 一、五月の蒼空・外 張起淑・外

夜

六、〇〇 天然記念物めぐり（岡山）井上清一 一、大公孫樹 二、カルスト地形としての石門間歇冷泉
六、三〇 子供の時間（東京）歌譜卷（尋常小學唱歌より）田口一夫編曲 JOAK唱歌隊 管絃樂アルメリア管絃樂團 指揮 吉原規 音のなぞなぞ
六、五〇 コドモ新聞（大連）
七、〇〇 ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇 琵琶（東京）伽羅の兜 田口旭隆
八、〇〇 常磐津（東京）薪荷雪間の市川（山姥）淨瑠璃 常磐津仲登良 外 三味線 常磐津仲伊勢 外
八、三〇 水十夜「第六夜」（哈爾濱）—全日滿放送— 松花江夜曲＝松花江上より中繼＝
八、四〇 俚謠（東京）（一）澤內甚句・外 大西玉子 （二）秋田おばこ 唄 ぼん子 外 三味線 白合子 外 （三）秋田音頭 唄 清香 外 三味線 文雄 外
八、五五 連續講談（東京）寛永三馬術 曲垣平九郎 大島伯鶴
九、三〇 時報・ニュース（東京）ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
一〇、一〇 ニュース再放送
一〇、三〇 北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇 滿語の時間

東京無線

常磐津 薪荷雪間の市川

〔後八・〇〇 東京より〕

淨瑠璃 常磐津仲登良、外
三味線 常磐津伊仲勢、外

「四面峨々たる足柄山、讒にかよふ椎が木蔭に染る蔦かづら君命うけてますら男が「まづろし「山高うして雲行客の後をうづむ君命うけて此日頃かく山賤とさまをかへ深山幽谷きらひなくゆきなり次第の氣儘酒ねむたさましにドリヤ一盃やるべいか「さけはかりなき盃につげばうつらふ星の影「アアラあやしやなア客星茲にたんたくなし我が盃中に影さすは扨は一定人傑の此山中にありといふ天のしらせか何にもせよ奇異なることを見るものぢやナアヤアこれで讀めた心當りは山住の女がつれいつもの子藏ドリヤ一ぷくのんで待べいか「錦の袂引替木の葉衣を霜霜に染てあげろの山姥と人や岩間の苔清水心細道たどたどと杖を力に歩みくる「ヲヲおふくろけふはまだ逢ませぬの「ヲヲ山賤のよき藏殿またたき火の御馳走しませうかいのう「夫れは忝ねえ時に子藏はどうしましたな「さればいの後の麓迄つれ立て來ましたがおほかたしつてゐるを相手にすまふがな取はあぶない早く茲へよばつせく／＼「ほんにまあおとましい事ではあるぞいのうアアおとましいとかこち事夫と見付て「あれ／＼御ろうじませあのよふな大きな石を持ちあそんでけがでもしたらどうせうとおもやるぞ煙草も程があるコリヤ怪童丸ヤイ「ヲヲイ「神樂月とて片山里を笛や太鼓で面白や足のつめたいにぞうりかふてたもれ子をとろ／＼どの子が目つきあとの子が目つき籠め／＼かごの中の鳥はいついつ出やる夜あけの晩につる／＼つつばいた木の根笹原くゞりくゞつてひよいと出たみどり子「ヤレ子藏よく歸つてきたな「ヲヲよふ戻つておぢやつたのふサア／＼いつもの通りおぢ樣へおじぎじや／＼「ヲヲおぢぎがよく出來ましたな「かか樣ちゝのまふ「ちちのみたいと足ずりはぐわんぜなき子のならひかや「コレハしたりどうしたものサア／＼是から又いつもの山めぐりの話をして聞かせませうぞや「なに山めぐりのはなし「こいつは面白かろふわえ「何のいなア昔語りもはづかしい有りし姿もどこへやらむめうの瀧に髮洗若葉の春を知り妻乞ふ鹿の音を聞て秋と思ふて深山路をあした／＼の山廻りよしあし鬼の山廻り「四季の詠もいろいろに「浮立つ空の糊生山桃か笑へば櫻がひぞる柳は風のおほよふに「誰をまつやら小手まねく「霞の帶のしんきらしして手と手を盆踊「なくこの池にうつり氣のうらみ過しの梶の葉は露の玉章おちそめて「こがれてぬらす袖の梅ついだまされて室咲の「梅の暦もいち早く「門に松たちやナント對鎚も出るかと思へばほどぎするやめふく間に盆の月待宵過て菊の宴はや觀月里神樂ほんに／＼せわしき浮世も我も白雪つもる山廻り山廻り「ホホウ此程より心をつけて伺ふ所扨は柔弱非力をくやみ横死をとげし坂田の藏人が妻伜此山中に籠ると聞きしがしや二人は「いかにもその坂田の家を起さんと山神へ祈誓をかけ則ちもうけし此怪童さてこそ我すいりやに違はず時行が妻伜よなさるにても女に稀なる心ざしその丹誠に山神の加護伜が勇力無あらん力の程が見たい／＼「おもちれへ／＼「コレ／＼怪童大事の處ぢや負まいぞ「ヲヲがつてんだ「神變ふしぎの怪童丸こなたはあしらふ勇力士怪童いらつて傍なる松を根こぎに引拔につこと笑つて立たりしは人も恐るるばかりなり「松の根こぎおもしろい「サア打てこい怪童丸「がつてんだ「打つてかかれば身をかはしすかさず强氣の力こぶ幹より腕のふしくれてしつかとつかめばめり／＼「えんや／＼とねぢ合しが中よりやつつとねぢ切て左右へ別れて立つたりしは目覺ましかりける次第なり「ホオ力の程は見えた／＼今よりしては顯光公の家臣となし父が家名をそのままに坂田の金時と名乘せんよろこべ／＼「ハハアありがたや忝なやコリヤ怪童けふから坂田の金時いふ侍に成るのぢやがうれしいかや「そんならおれは侍になるのかうれしい／＼かくてははてじ怪童丸お頼申すは仕さまなごりは盡じはやおさらば「いとま申して歸る山の峰も木ずえも白妙ば源氏の榮え盡しなきまもろ神がきはもうしうの雲のちり積つて山姥となれり山又山に山めぐりして行衞も知れずなりにけり

木村長門守の殉忠 伽羅の兜

〔後七・三〇 東京より〕

田口旭隆さんの琵琶

大閤逝きて蓋世の、雄圖はいづこ大阪城、忠臣義士はありながら、小人內にはびこりて今は德川家康の、其の術中に陷れる、家運の末を如何にせん、さても豐臣德川の、和議は再び破れしかば、關東勢は諸道より、攻め寄せ來ると聞えけり、爰に豐臣右大臣秀頼の臣木村長門守重成は、こたびは大御所家康の、首を我手にあげざれば生きて再び還らじと、覺悟定めて今生の、名殘に妻の白菊と、別れの杯酌み交し、やがて鼓を調べつつ謠ふや須磨の一曲に「難波の葦の短夜も、更くるを知らぬ風情なり、白菊飾は若けれどさすが健氣の心より、夫の身の上憂ひつゝ、此の期に臨み悠々と、遊び樂み給ふこそ、いとも本意なくおもほゆれ、わけて今朝よりは一粒の御食事さへ召し給はず、若も此まゝ戰場に、出でさせ給ふことならば日頃の勇氣も鈍らせて思ひのまゝの御働きも、如何あらんとかひがひしく、誠心こめてぞ諫めける

重成容を改めて、そもじ聞かずや其の昔、末割四郎といへる武者、敵に喉を射通されて御內にて、傷口より飯吐き出で、其の醜き最期を遂しとぞ、斯る恥辱を後の世に、遺さんことを氣遣ひて、吾は食事を取らぬぞと言へる言葉に白菊は、實にも夫のいさぎよき、覺悟の程を今さらに悟りて深く感じ入り、何氣なき樣裝ひて、ふと其席を立ち去りぬ、斯りし程に出陣の、時刻迫れば重成は、二度三度白菊を、呼べど答のあらざれば、こはそも如何に何事ぞ、懷劍喉を貫きて、朱に朱りて打ち伏せり、重成驚き抱き上ぐれば、早や玉の緒も絶え果てゝ、施す術もなかりけり、傍を見れば一封の遺書、取る手遲しと讀下せば、一足先きに死出の山、越えて冥土に待たんとの、いと麗はしき筆の蹟、殊勝の覺悟に重成は、暫時瞑目合掌し、軈て門出の準備を整へ、いざと兜を手にとれば、中より薰る名香は、今はの際に白菊が、心と共に焚き籠めし、其のたしなみと知られけり、今は勇氣も百倍し、逸りにはやる若駒に、打ちまたがりて出陣す

晨鷄再鳴殘月薄
征馬連嘶行人出

時しも元和元年の、五月六日の東雲も、早やほのぼのと明け渡る、空に靡くや旗指物、近づく敵の軍勢は、關東一の剛の者、井伊直孝が率ゐたる一萬餘騎とぞ知られける、あな物々しやと重成は、二千餘騎にて駈け向ひ、矢庭に駒を躍らせて、敵陣深く突いて入る、槍の穗先は雷光の、空に閃く如くにて、如何なる天魔鬼神も、敵せんやうぞなかりける、續く味方の兵士も、我れ劣らじと戰へば、敵の前陣忽ち敗走すされば後陣の新手勢、二萬餘騎にて盛り返へす重成いかでひるむべき、阿修羅王の荒るゝが如く、縱橫無盡に駈け散じ益々進み戰ひつゝ、圍みを破つて唯一騎、若江河原に出でければ、駒より下りて青柳の枝垂るる下の川水を、掬ひて喘ぐ喉を潤ほし暫時息づき居たりけり、斯る所に敵の猛將、庵原助右衛門馳せ來り、槍打ち拔き突き蒐るを、重成動ぜず渡り合ひ龍虎の爭ふ如くにて、暫し激しく戰ひけり

さしもの手垂の重成も、數ケ所の深手身に負ひて、心は彌猛に逸れども、進退遂に谷まりて、あはれ二十三歲を一期とし、難波の葦に置く露の、玉と散りしぞ勇ましき、伽羅焚き籠めし其の兜、忍びの緒さへ切りすてゝ、命縮めし益良雄や、首實檢の晴れの場に、敵の大將家康も、あつぱれ武士の龜鑑ぞと、稱へし譽は難波津に、咲く花よりも芳しく萬代かけて匂ふらん、萬代かけて匂ふらん

天然記念物めぐり 今晩は岡山から〔午後六時〕

▽……井上清一

井上氏は岡山縣史蹟名勝天然記念物調査委員で、岡山縣第一岡山高等女學校教諭です。

一、大公孫樹

（一）所在 美作勝田郡豐並村奈岐山麓菩提寺境內

（二）現狀 樹高は正に三十米に近く樹幹の周圍約十四米樹勢旺々盛にして縣下第一の巨木として誇るに足る

（三）由緒傳說等 今から約八百年前淨土宗の開祖源空（法然上人圓光大師）の挿木せるものと傳へらる。周圍四米許りのもの一株あり是はかつて母樹の長枝が自然に地面に垂下して天然の壓條によつて生長したと言はれてゐる。其他本樹を中心とする傳說は數多く殘つてゐる。

二、カルスト地形として石門と間歇冷泉

（一）名稱 羅生門と潮瀧

（二）所在 伯備線井倉驛より東方へ同線方谷驛より東北へ約四粁の地點

（三）現狀（イ）羅生門 石灰岩地にありがちな鍾乳洞の天井が部分的に陷落して取殘された爲めに出來た石門でそれが四箇所もある。最大なるを第一門と呼んでゐる。高さ約四十五米巾は下方に於て十七米奧行三十八米の天然大古城門であり天工の一大奇橋で、巖上に翠樹を飾り、洞門を透して山雲の去來するを見る。

（ロ）潮瀧—羅生門附近には小さいドリネが幾つもある、是等の水のはけ口と考へられるのが此の潮瀧である。不思議なことにはそれが時を定めて噴水する（潮瀧の起り）平時は少量の湧出であるが時來れば急に量を增し其の水岩に激して痛快である（一日三回の記錄がある）而してそれが永く石灰岩の裂罅中を通つた水だけに氷に近い溫度だといつて良い。

四、由來傳說等 此由來傳說等此の瀧の水は降雨量と殆ど無關係にあるので雨乞の神として祈願所となつてゐる。

俚謠 秋田おばこ

ぼん子が歌ふ

おいさかサッサおばこでハイおばこ何ぼになる、此年暮らせば十と七つ、十七おばこなど、何しに花コなど咲かねとナ、咲けば實もなる、咲かねば日蔭の色紅葉、おばこ心持池のはたの蓮の葉のたまり水すこしさはるところころころんでそばによる

おばこ心持辰子潟のすき透る水の色、ちよいとながめは、十五夜お月樣影をさす

おばこ心もち野中の一本生えたる枝垂柳、なんぼ吹かれても西と東の方へちよな

學藝

二人（二）

右田卓二

かすみは以前此の家に下宿してゐたのであつた。主人夫婦は今日は正月早々から具合が悪いと言ふ中野の父の家に行つてゐて居なかつたが、その妻と言ふのがキンの愛弟子であつて醫專を卒業してゐて近々開業することになつてゐた。それを頼つてキンは學校を止めた後上京して來たのであり、從つて新木も此處に下宿することになつたのであつた。以前からかすみはやはり同じ學校出である關係上此處に下宿して藥專に通つてゐたのであるが、そのかすみが何時しか新木を戀するやうになつた、それがふとしたことからキンに洩れると、キンは何故默つてゐたのか、監督者の目を盗んでそんなことをするのが一番いけないと新木をきめつけた。まだ高等學校を卒業して大學に入學したばかりの美少年に過ぎない新木は、僕はかすみは好きぢやないんだ、かすみの友達の晴子が好きなんだと白狀したのであるキンは事態が思はず混み入つて來たことを感ぜねばならなかつた。そしてやつとかすみを文江達の芝の下宿にやることにし、かすみが新木を思ひ切る代りに新木は晴子と卒業するまでは交際はせぬと新木に誓はせた。

ただくと言ふ名目で先生と一緒に家を持つことにしては如何かしら？」

文江がふいと思ひついた此の考へを口にした時、二人にはそれがすばらしい新年早々の計畫であることが分つた。

「すばらしい、又春陽寮時代に復活する譯よ、すばらしいわ、すばらしいわ！」

かうして思はぬ可能が發見せられたのであつた。輝子も

芝の下宿で此等の事情をかすみから打明けられたのは文江と輝子だつた。わたし相談があるのと前置してのかすみの話し振りでは思ひあたるものが多分に殘つてゐることが感ぜられた。嚴格だつた前校長の前でそんな大膽なことをかすみがやり得やうとは二人にも多少意外であつた。出し拔かれた感がしないでもなかつた。同時に自分達が美しくもないしそれに田舍つぽだと輕蔑してゐるかすみとかう言樣に思つた新木が案外近くに居たことに彼女達は喜びと希望をすら感じた、あの人だつて近づき得るのだと言ふ意識が此の二人に動いた。

「案外男つてそんなものだわ…」

一度結婚したしそれに瘠せた體質から來た氣質でもあらうが、かすみの話を聞いた後輝子は虛無的にかう言つた。だがさう言ふ輝子も自分の前に輝かしい顔をして息込んでゐる文江の顔を見ると、何か自分にも譯の分らない新木への期待がもたげて來るやうであつた。

「ねえ、私達を監督してい

一通りの賛成のしやうではなかつた。こんな調子でその案は早速外の人達ともその夜の炬燵の上で可決されたのであつた。

春陽寮と言ふのはキンがまだ校長であつた時代東京在住者の卒業生のために建てたものであつて、それも彼女の意見に依ると母校の延長であつた。中國の田舍にあるその母校は學園の組織になつて居り、キンの理想であつた母性の教育としての女學校の基礎が定まつたので今度は男子の教育をと中學校が設立され、更にさう言ふ山間田舍には珍らしいと思へる程に幼稚園まで設けられ、キンの希望では小學校も學園の中に入れたい處であつた。ところが近頃省營バスがやつと通ずるやうになつたその田舍町に於ける學校事業の余りにも尨大な擴張は他の理事達のキンに對する反對となり、女子大學時代からの一面理想主義者であつたキンは極力擴張を主張した譯であつたが遂に喧嘩別れとなつてしまつた。かうしてキンは三十年以來實現への夢を抱いてゐた望みが斷たれ郷里に歸つて偏屈な女となつた。その騒ぎの間に東京の春陽寮も何時しか潰れたのであつた。

今此の家の主人である清川は前からキンの愛弟子である清子を此の寮に尋ねてゐた。それは大阪の或研究所の藥品が蓄膿症に利くと言ふのでその藥液を注射して貰ふためであつたが、キンが研究所主とその同郷關係から學園でもこの藥の取次をしてゐた。此の藥の注射でも又學園はその附近に有名となつた。清子は勿論秘密であつたが此の注射に依て學費の一部を得殘りはキンの毎月の送金で足りてゐた。然し例の中國地方の新聞にも太きく出た程のキンの學校騒動のために送金が絶つたので忽ち清子は學資に窮してしまつた。同時に寮の方にも維持費が來なくなつて解散しなければならなくなつたのであるが、清子は寮に殘つてゐる財産を整理して兎に角學校を卒業する事が出來た。此の間の事情に清川が關係してゐた譯で、東京に來て以來段々其の事情が判明するにつれてキンは清川を快く思はぬやうになつた。又清川にすればかう言ふ弱點もあるので、自分等の生活の方が落着いた今は特にキンに對して親に對する氣持で世話しやうと思つたのであつたが、もうキンはそれを素直に受けられなくなつてゐた。そして此等の事情が、後で文江達の申出にキンが快諾した理由の一つであつた。

炎天行

松村冬木

黙々と白衣の動く炎天下
木蔭ある毎に鮮農憩ひをり
鮮農の子蒲打ち合うて遊びをり
樂士こゝに姑娘田草取りゐたり
アリランの調べに田草取りすゝむ
巡警の踊り行く道麥の秋
銃抱いて壘守る一人ひるねかな
虫除の廟會へ行くあるじかな
家鴨小舍かこむ向日葵咲きそめぬ
瓜もいで呉れたる纏足女かな

高見順の「外資會社」

P・S・M

近頃相當好評であつたらしい高見順の「外資會社」を讀むことが出來た。作者が自ら書いてゐるところによれば、彼はいま小説の上で新しい旅に出たいと思つてゐるのであるが、既に心で旅の草鞋をはいてゐることを示すもの、それがこの小説であるさうである。

小説は茂子といふ女がY・W・C・Aから選ばれて神奈川の方にある外國資本のレコード會社に就職の銓衡を受けに行くところから始まつてゐる。その途中、その會社に勤めてゐるさまざまの社員のタイプを見せられる。

彼女は採用される、壬生八重子といふ先輩がゐて彼女を指導する。それから、社内のその他の男や女たち。それらの人物が、それぞれの性格で描き出され一種違つた雰圍氣のある會社の内面が面白く描き出されてゐる。

惡い評判があつて、やがて柔和しい社員と結婚する古垣郁子。女工から映畫女優になる女。「僕は自分で自分を人間扱ひしないで、ビジネスの爲の機械のやうに扱つてゐるんです、會社をひとつの大きな機械とすると、自分を其一部分として冷酷に無慈悲にこき使つてやるんです」と氣焔をあげる戸澤。それぞれに巧みに描かれてゐると言へやう。

會社の工場の方で爭議が起りかける。小説は、事務室の連中がそれを窓から眺め聲援してゐるところ、ただ戸澤と八重子がみんなから離れて居り、それを見た茂子が「この二人に激しい憎惡を感じた。戸澤に惹かれた自分が淺間しく愚かしく、八重子を嫌ひながら尊敬し同情してゐる自分が口惜しく悲しかつた」といふところで終つてゐる。

「外資會社」――その題名から、私はもつと外國資本を代表する外人たちが表面に出て來る場面を豫想してゐた。しかしこの豫想は當らなかつた。このやうな程度のことならば何も「外資會社」でなくてもいいであらう。

ただ作者の新しい意圖といふものは、何處といつてさう顯著な部分としてではなしに作の全體に感じ取られるやうに思へた。たしかにこれは、「心での草鞋の用意」であらう。そして作者がこの後に書くであらうものに、健康な發展性を可能し得らるゝ點で、この意圖は喜ばれていいのである。

「外資會社」は最新近刊の小説集「虛實」に收められてゐる。私は「見たざま」「寒い路」などの小説も再び讀み返し心愉しかつた。（八、四）

海外ニュース

・・・國際無電通信會議【カイロ發國通】國際無線通信會議が明一九三八年二月一日よりカイロに開催される、この會議は從來の國際通信會議の中では最も規模大なるもので今後五年毎に開かれる豫定である明年の會議は尠くとも六週間續行され參加者は八百名を超えるものと豫想される組織委員會は既にエジプト交通相マホムッド・ファミイ・L・ノラシイ・バシヤ氏を會長に推戴着々準備を進めてゐる、一方ベルンにある國際無電通信事務局では會議の討議細目其他につき研究を續けてゐるが從來の國際通信協約中既に一千二百六十八件の改正案が提出されてゐるといはれる

・・・ルーズヴェルト大統領夫人の懷工合【ワシントン發國通】米國民敬愛の的であるルーズヴェルト大統領夫人の收入はどの位だらうか、このほどその内譯が判つて非常な興味を惹いてゐるそれによるとルーズヴェルト夫人の手許へはいつて來る收入は夫君のルーズヴェルト氏が大統領として受ける年俸の外に、夫人自身の原稿料とラジオ講演料が尨大な額に上つてゐることが判つた、ラジオ講演料は年約七萬二千弗だが夫人は一文も取らず全部米國善隣協會へ寄附して教育、慈善事業に使用される、原稿料の額は不明だが、毎日の新聞寄稿、婦人雜誌に十回に分けて執筆してゐる自敍傳（これは完了後は單行本として出版される豫定）の兩方から入つて來るものを合せるとこれ又相當な多額に上るといふ、原稿料は大抵夫人のへそくりとなつて、夫君同伴の週末旅行の費用に當てるらしいが慈善金として使用される額も少くないらしい

・・・美食工場開設【ベオグラード發國通】蝸牛龜、食用蛙等の足を罐詰にする一風變つた工場がこのほどユーゴースラヴイアのボスニアに設立されて評判になつてゐる、從來これらの珍食品は主として佛伊兩國へ輸出されパリやローマの食通連の食慾を滿足させてゐるが、運送中に屢々腐敗するので今度殺した其場で直ちに詰めることにした、工場は一年間に一萬匹の蝸牛、龜、食用蛙等を輸出する生産能力をもつてゐる

・・・紐育市ガム掃除【ニューヨーク發國通】米國人のチューインガム好きは有名だがそれだけに又道路上に棄てられる其紙包や滓はちよつと想像の出來ない程多量だニューヨーク市の鋪道清掃協會ガム掃除班はこのほど廿五年振りにブロードウエイ街のガムの大掃除を行つた、化學溶劑や除塵器等を使つて掃除をした所實に九千梱のガム屑が掻き集められたといふから驚く

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△中道（七月號）永島勝介「滿獨貿易協定の更新」「體育合同座談會」前野生「動く滿洲經濟を讀む」その他滿文の文藝もの、運動記事等（新京北大街、滿洲中央銀行中道編輯係、非賣品）

△滿洲鑛業協會會報（七月號）採金會社黑河出張所事業概要、密山縣雞西煤鑛概況、その他統計、法規等を滿載（新京興安大路五二四、滿洲鑛業協會、五角）

△樹てよ液體燃料國策（長谷川尚一著）（東京市麹町區内幸町一丁目五、燃料國策研究會）

「世界の藝術院と列國の現狀」本日休載

炎熱灼くが如し！

今ぞ愛兒を健かに!!

狂奔する水銀柱 灼熱の夏がいよく襲來しました。食慾が減る 下痢をする 消化不良だ緑便だ 正に乳幼兒のS・O・Sです！

寢冷えを警戒なさい 不消化物に御注意下さい 授乳は斷じて規則正しく致しませう そして夏も潑剌と伸び行く強い兒に育てませう！

便の具合が惡い 熱がある 嘔吐を催す、グツタリして樣子が變だ そんな時に躊躇は禁物 即刻宇津救命丸をお與へになつて、ぬかりなく御手當をなさいませ！

宇津救命丸は定評のある保育藥です。特に幼兒の胃腸疾患に良效あり、炎暑に對する抵抗力を强めて夏負けを防ぎ、發育を促進します

こんな場合に

食中毒・暑中・消化不良
綠便・疳・虫氣・ハシカ
ヒキツケ・夜泣き・吐乳
胎毒・虛弱兒の强壯化に

(藥價) 廿錢より拾圓まで各種
全國藥店・百貨店藥品部にあり

育兒日記

お母樣の爲の育兒百科辭典とお子樣の爲のこよなき發育の記錄を兼ねた大好評の美裝本です。ご出產のお祝などにも大變結構です。一部 三十錢です

—書店又は百貨店書籍部へ御注文あれ—

—弱いお子樣の味方—

總代理店 株式會社 玉置商店 東京・大阪

新京日本橋通 家具裝飾 品川洋行 電3 三〇六二・二五九三・三一三一

お茶と茶道具の店 みどり茶園 吉野町一丁目 電3四七七〇

靴鞄 各種 高級品……豐富 大長洋行 新京永樂町一丁目(〆イヤ街) 電(3)五五一三番

小兒科 (入院隨意・往診應需) 長春醫院 新京神社ノスグ前 院長 德丸 電(3)六二二四一番

堅牢 信用 三菱モートル 在庫豊富 型錄進呈

修理ハ迅速・確實!!・廉價!! (電氣百般)

三菱電機株式會社 製品元賣捌店 合資會社 協隆洋行 新京吉野町一丁目二一 電三―六七六〇 修理工場西七馬路一七 電二―二九七一

年中無休 夜間診療 各科專門 深町醫院

●内科小兒科 醫學博士 水澤 衛 ●皮膚科・性病科 醫學博士 深町穗積 ●外科 醫學士 久場長章 ●耳鼻咽喉科 醫學士 松村義雄 ●產婦人科 醫學士 古川 直 ●レントゲン・物療科 醫學博士 深町穗積

(日本赤十字救療所院内にあり) △新京・朝日通り 醫學博士 深町穗積 電(3)三四一二番 六六六八番

雨合羽 豊富 安價 天幕、雨覆 製造 日覆 カアーテン 窓掛 諸車幌 松田テント 松田テント商行 新京西五馬路八号・電(二)一五八七番

醫療器械 村中兄弟商會 撫榮路一四〇號 電話(2)一五六〇

優秀な技術 美術寫眞 小西寫眞館 新京大經路西三馬路角 小西吉雄

水害後報

必死の復舊作業に 連京上り線開通

昨午後四時一晝夜目に連絡 當分の間は單線運行

五日午後三時から水害のため不通となつた連京線亂石山、得勝台間の現場は奉天鐵道事務所々員の必死の復舊作業により六日午後四時漸く上り本線の開通を見、鐵嶺に待機中であつたチチハル發奉天行四十列車を皮切りに通過し續いて奉天から超滿員の旅客を乘せたあじあが徐行して通過し列車不通以來廿餘時間で開通の運びとなり當分の間は單線運行で連絡をとることになつた

鴨綠江增水て 安東江岸通り浸水

鴨綠江は六日朝十一時の水位五米六十で濁流は江岸鐵道線路下まで達し、江岸通りの家屋は殆んど全部床下に浸水、六道溝方面も浸水家屋四十戸を出した

五日分の客を滿載 鮨詰あじあ到着

ごつた返した新京驛

新京驛では六日午後一時ごろになつて上りあじあを定時に發することに決し二時十分に發車したが一等客は一名もなく、二等客が六名、三等客二十餘名の閑散振りであつたが、定時より約二時間遲れ新京に到着した奉天發下り一番乘りのあじあは京義線不通以來安東、奉天に五日間も立往生になつた內鮮方面からの旅客を始め一等も二等も三等も文字通りすし詰め、食堂車にまで詰め込んだ超滿員振りで八時十分到着、驛頭には數日來氣遣つてゐた家人、知友人などの出迎人があじあの到着今やおそしとホームに雪崩れ込み、新京驛は時ならぬ混雜を呈した、旅館案內、電報受付その他旅行案內等に全驛員が應待の暇もなく忙殺されてゐる間にやがて第二番乘りはとが定時に約半時間遲れて午後九時十五分に到着した、なほ七日からは連京本線もダイヤ通り定時に發車するも南滿方面からの到着の分け多少遲れて到着するものと思はれる

又また安奉線 全線に亘つて浸水

連京本線が不通以來二日目に漸く單線運行が開始されて南北滿洲の連絡がとれるやうになつたかと思へば又復安奉線では連日の降雨のため六日午後一時五十分ごろから全線に亘つて各所で浸水、路盤流失橋脚流失などで滅茶苦茶に荒されて列車は全然不通となつた、その中最もひどい個所は劉家河＝林家台區間、秋木莊＝鷄冠山區間、鷄冠山＝四台子區間、四台子驛構內及び鳳凰城＝高麗門區間その他數ケ所に及ぶ

このキロ程實に三十七キロに達し斯樣に廣範圍の水害は全く珍しいものである、なほ同水害のため新京、釜山間直通急行列車も當分の間運行中止となる模樣である

渾河の增水て 奉天大警戒

降り續く雨のため渾河はその後ますます增水、六日午前九時に至り四米二十の增水となり水流轟々としてすさまじく市民は今や水魔に怯え奉天警察署員、地方事務所土木關係者は徹宵警戒大童の奮鬪を續け目下應急措置を講じてゐる

奉吉線は開通 錦承、奉山線は不明

五日夜貨物列車の脫線事故のため列車不通となつた奉吉線清原、英額門兩驛間は六日午後四時ごろ漸く開通した、なほ五日午後以來水害のため不通となつてゐる錦承線、奉山線は未だ復舊不明である

愛國献金最高潮

ハリキリ節約家、茶商組合から 續々として本社寄託

國都市民の本社寄託獻金は、益々多きを加へるばかり、本社でも非常に感激しつゝ一刻も早く此の市民の熱誠を前線將兵に傳達したいものと、每日午前、午後の二回に分けて關東軍司令部に傳達手續をとつてゐる、六日午後到着分は次の通りであつた

一、時局柄今夏は特にハリ切つた氣持で節約致しましたそのお金を此處に些少ですが國防費の一端にもと思ひます譯で御手數乍ら取次いで頂き度い次第です（原文のまゝ）此の手紙に滿洲國の新十圓紙幣を封入して郵送し來つた氏名不詳の篤志家がある、封筒には錦町の〇〇〇〇とあるのみ、本社では心から感激して受領したわけである

一、滿洲事變の長春にはお茶を商ふ店は一、二軒しかなかつたが、滿洲建國、新京奠都とめざましい發展に伴ひお茶商も附屬地だけで七軒になつた、この新京茶商組合では協議の結果、皇軍慰問金四十圓を釀出し河久商店主河村久市氏外一名が六日午後本社を訪れ獻金を委託された、河村氏は何分まだ組合が出來て間がなく積立金などもなく甚だ些少ですが組合員の微意を表したくよろしくと語つてゐたり、し、皆と相談の上國防獻金か、皇軍慰問かに寄附することにしましたから國防獻金の一端に當て吳れと本社を通じて寄附申出でた

新京藥業組合 獻金事項協議

新京藥業組合では六日午後三時から記念公會堂にて役員會を開催かねて同業組合聯合會總會の決議に基き、北支事變に對する國都市民の赤誠を示す獻金等につき具體的協議を行つた結果、二、三日中に組合員一同より隨分の浄財の醵出を請ひ當局に提出することとなつた

新京輸入組合 臨時總會

新京輸入組合では六日午後一時から記念公會堂にて第八回臨時組合員總會を開催まづ石井理事より北支に奮戰中の我が忠勇なる將兵に對し武運長久を祈る感謝電を發することを計り滿場拍手裡に贊意を表したる後、議事に移つたが、石井理事就任最初の新京輸入組合今後の動向に對する意見開陳あり注目せられた、なほ議題は滿洲輸入會社と輸入組合の積極的協調に關し、組合側の諸規定の改正であつた、即ち組合理事の職に在る者が輸入會社出張所長囑託として輸入會社業務代理を行ふことになつたがこれはさきに興業銀行より輸入會社が融通契約締結をみた二百萬圓の中小商工業者金融資金の貸付等に關し各地輸入組合理事は組合を離れて獨自の權限により貸出しを行ひ得ることゝなつたもので、時局柄中小商工業者にとつてはその運用如何によつては多大の便益が與へられるものとなり非常に期待されてゐる

呂巡官署葬

去る七月十六日安達街が火事だとの電話を悪戯と知らず出動中、安達街派出所附近にて車上から振り落され重傷を負ひ、爾來市立醫院に入院加療中のところ、五日午前六時廿五分新婚の妻子を殘し不幸殉職を遂げた首都消防署巡官呂揚辭氏に對する署葬は六日午後三時から同署構內に於て盛大に執行された、治安部次長代理、澁谷警務司長、首都警察廳于警察總監、關口副總監以下各科長、其他多數關係者參列、僧侶のしめやかな讀經に次いで澁谷警務司長、于警察總監、李消防署長はそれぞれ弔詞を朗讀、終つて伊藤警務主任より一場の挨拶あつて讀經、一般參列者の燒香をもつて同三時三十分嚴肅裡に終了した

大連軍の善戰及ばず 三度、間島に凱歌

全滿都市對抗 足球大會終る

第六回滿洲國體育大會兼東洋大會第一次豫選會足球第三日決勝戰は六日午後四時十分より南嶺國立運動場で擧行された、大會頭初強敵哈爾濱を破り次いであつさり吉林を蹴落した間島軍と奉天新京二強豪をなぎ倒した大連、何れも甲乙なき優秀同志の決勝戰とて興味最高潮に達し定刻前より詰めかけた觀衆で場の周圍は人で埋まる、かくて四時十分トスに勝つた間島軍風上を選び大連のキックオフで熱戰の火蓋が切られ、熱戰の結果三對零で間島軍が優勝し三度全滿足球界の王座を獲得した、終つて優勝旗授與式を行ひ飯澤大會委員長から間島軍に優勝旗、優勝盃並に副賞、準優勝大連軍に賞品を授與し續いて講評があり午後六時二十分榮ある大會の幕を卸した

▽大連對間島（試合開始四時十分）（主審梁瀨、副審黨、王）

大連KO 英壽福寬良昌山泉有岡珍 長永樹承吉繼寶賢邦全玉 朱朱夏闔張李玉龍安段馬 FW HB FB GK

間島 鄭煥全鎬男洙奉逸鉉鎬鳳 日益東應貫昌學洙東致惠 林朴朴趙崔董金鄭崔李李

スコアー 大連 前半 0 後半 0 ― 1 3 0 間島

GK 1 1 3 I

CK 4 3 0 1

PK 0 1 3 5

FK 3 5

大連 前半 8 3 0 3 後半 4 2 0 1 間島

風下に布陣した大連は前半フオワードを四人にしてハーフに一人廻し消極的戰法に出て敵に得點をさせずもちこたへる事に努力し防禦に力を注いだゝめ攻めるに人手不足を來しゴール前惜しい處で間島に逆轉された、間島また兩ウイングのオフサイドにチャンスを再三潰しフオワードの活動をそいだかの感があつた、後半三分ライトウイングの蹴つた球をライトインナーヘッデイングして一點、卅二分レフトウイングうまくドリブルして敵の間を拔きゴール前での見事な一蹴が極つて一點、四十分ライトウイングの球をライトインナーがうけ更にレフトインナーに送りレフトインナーの一蹴ゴールキーパーの虛をついて一點と三點を獲得したが大連フオワードを五人にかへし攻擊につとめたが少しかたくなり加へてあせり遂に長蛇を逸す【寫眞は優勝チーム間島軍】

茶菓料を獻納

警察官、巡査補から

新京署新京驛警察官詰所では關東局某警視からかねて連絡に手數を煩はしてゐるから謝禮の意味で茶菓料として金五圓を貰つたが、村中、戶田兩巡査、金、楊各巡查補、巡捕など話合つた上國防獻金に寄附することとして六日朝係巡査が自分等が菓子を喰つても何もならぬと思ひ、一旦辭したが警視殿が切角だから受けて吳れと下さつたのでお預

應援團熱狂の餘り 大亂鬪を演ず

足球優勝戰最中の不祥事件

第六回滿洲國體育大會兼東洋大會第一次豫選會足球大會の第三日目榮えの歷史を飾る決勝戰當日試合の將に芽出度く終らんとする五分前些細なチャーヂに端を發し神聖なるべき競技場を穢し日滿親善五族協和の根本精神にも悖る一大不祥事件を惹起し各方面から甚だ遺憾とされてゐる、即ち大連對間島の決勝戰の後半四十分間島軍が一點を入れた直後大連側ペナルテイエレア中央に於ける些細のチャーヂに間島軍の一選手が手をあげた事から狂氣した觀衆應援團は總立ちとなりはては競技場に亂入し互に下駄或は靴等をもつて毆打暴行し不謹愼極まる爭を演じ殺氣立ち審判の制止もきかず騷擾を極め競技並に競技場の神聖を冒瀆し滿洲スポーツ史に拭ふ可からざる汚點を塗つたものである

飯澤委員長談

滿洲スポーツ界空前の不祥事件に關し當大會の飯澤委員長は遺憾に堪へぬ面持で語る

折角の大會にかうした不祥事件の起きたことはまことに遺憾に堪へない、いくら熱心になつたからとて觀衆が場內に飛び出し毆り合ひつかみあひの喧嘩沙汰とはもつての外だ、少數の觀衆の不心得に依つて榮譽ある大會の穢されたことは殘念だ、役員や選手に對してはむしろ氣の毒に思ふ、殊に選手等は兩軍とも無茶に退場するやうなこともなく最後迄試合を續けてくれたことは喜ばしい、今後は何競技によらず觀衆は競技の神聖をよく自覺して再びかゝることを繰り返さぬやうにしてもらひ度い

靴の踵に隱す

枕探しの妓女捕る

同キン中の虛に乘じて男の懷中から現金を窃取する枕探しの妓女が六日新京署日高刑事に逮捕された、五日午後三時頃滿洲國日系官吏某が大和通十一番地滿洲料理店双樂堂に於て同樓抱妓女吉林省双陽縣生れ淑芳こと李玉氏（二五）を揚げ約三時間を遊興歸宅したが、歸つて財布を出して見ると確かあつた筈の百圓札がいつの間にか紛失してゐるのを發見吃驚して早速新京署に屆出でた、事情を詳細聽取した日高刑事は妓女の行動に不審を抱き實地檢證したところ百圓札と一緒に入れてあつた書類の破れた紙片が室內に落されてあるを發見したので被疑者として淑芳を檢束嚴重追及したるも口を緘し頑強に否定し續け、一時はもて餘したが烱眼な刑事の瞳は同女の履いてゐる布製のまだ眞新しい靴のカカトに破れあるを發見調べて見るとその中から小さく折たゝんだ百圓紙幣が出てきて包み切れず同キン中相手の財布から拔きとつたことを自白した、尙他に同一手段による枕探し四件も自白し續いて餘罪取調べ中である

大阪屋書店移轉

市內中央通りに在つた大阪屋號書店は豐樂路六〇八號の新築店舖に移轉六日から同所で營業を開始した、電話は二―五〇八四番

7―7 滿洲國軍遂に 東京クラブと引分け

【東京國通】都市對抗野球第六日準決勝滿洲國軍對東京クラブ戰は午後二時卅分滿洲國先攻で開始、試合は劈頭より猛烈なる接戰を演じ、準決勝にふさはしいシーソーゲームを展開、六對六のまゝ補回戰に入り十一回滿洲國軍一點を入れゝばその裏東京クラブ一點を返し、延長十二回に及んだが、日沒のため審判協議の結果遂にドロンゲームとなる閉戰四時五十七分、なほ七日午後二時より再戰する

▲スコア

滿洲國軍 0 2 0 2 2 0 0 0 0 0 1 0 ― 7

東京クラブ 3 0 1 0 1 0 0 0 1 0 1 [illegible] ― 7

自轉車泥棒捕る

五日午後五時頃領警署楢葉刑事が特別市北安胡同七〇九號附近を警戒中折柄通りかゝつた擧動不審の男を發見、檢束取調べたところ去月廿九日興安胡同一〇三號岡田商店所有の自轉車を窃取せる旨、外數件を自白した、この自轉車專門の泥棒は住所不定、河北省生れ支那人王文正（一八）で目下餘罪取調べ中

鐵線を盜む

六日午前七時廿分ごろ東五馬路北市場附近を徘徊する擧動不審の男を首都警察廳于警長が引致取調べると山東省生れ住所不定無職蕭淸義（廿六）と稱し去る七月三十一日午前十一時ごろ南嶺阿川組建築工事場に侵入、工事用の鐵線約百三十斤（時價十五圓）を盜み出し金にかへて遊興に費消したことを自白した、餘罪取調中

弘報會議

第一日午後

第一回弘報會議第一日午後の議事は八日午後一時より開會直ちに情報關係の會議に入つたが、先づ弘報處側より情報事務ならびに情報處理規定案及び時局關係ならびに一般情報の蒐集に對する說明あり、終つて地方の報告および希望事項の開陳あり午後四時散會した、なほ午後七時より會議出席者一同ヤマトホテルに赴き會食後懇談會に移つた

鄉軍聯合分會 評議員會

新京在鄉軍人聯合分會では六日午後七時から公會堂にて評議員會を開催、在鄉軍人の訓育その他新事業計畫につき協議した

滿洲國體育聯盟 評議員會

滿洲國體育聯盟では六日午後三時から記念公會堂にて評議員會を開催、皆川理事長、飯澤常務理事、平野民生部保健體育科長、田中主事以下、各協會地方代表約四十名出席、皆川理事長、平野科長の挨拶につぎ聯盟規約を滿洲國政府機構改正に從ひ修正を行ひ、次いで東洋選手權大會に關し飯澤常務理事より報告演說あり、近く擧行せられる全國體操競技會に就き指示注意事項あつて評議員會を終了、直ちに全國代表者協議會に移り、陸上競技實施に對する注意事項あつて同五時半散會した

フレンソーダ

富士屋旅館の五味武太郎氏も滅多にうちに坐つてゐる男ではないが▼この間から防空演習の際は防護團服に身を固め第二分團第二分隊本部にあてられてビユーローで田口分隊長と連日作戰をめぐらしてゐた▼引續き四日から實施された簡閱點呼にも防護團服で毎朝早くから點呼場に現はれて鄉軍の士氣鼓舞に努めてゐる▼道に商賣がら、親母しい國都の旅館業組合長である

義人長七郎

（禁上演 映畫化）中川雨之助
竹枝一郎畫

子故の闇（四）

目的のお琴が、今夜はスッカリ恐懼れて、艶やかな姿を見せないので、小十郎が焦めてたまりません。」

「生憎と、風邪を引込みまして、臥つて居りますので……」

「はゝあ、この前來た時は腹痛であつたが、今度は風邪か。この次參れば、何であらう、大方癪でも起されるかの、あツはゝゝゝ」

「誠に嬉しき男の力とか申すから、その時は雨宮氏、貴殿が御介抱の役廻りでござるぞ、あはゝゝ」

と、傍から平岡新九郎が囃て上げるのです。

幸兵衛は、苦り切つて、横を向いて困りました。

すると、何事を隠し合すのか、ソツと眼配せを仕合つた三人。やがてのことに小十郎が新住居を直すと改まつた調子で言ひました。

「さて幸兵衛。先達てから度々申入れる例のお琴殿の一儀に就き、拙者の宿の妻に與れるものか、與れないものか、いよ／＼その結着の返辭を訊かうと思つて、斯うして今夜、わざ／＼出向いて參つたやうなわけだが……」

幸兵衛の方でも、寧そキツパリ撥つけてやらうと、ちやうど肚を決めて居た矢先きでしたので。

「不束な娘に思召のほどは、まことに有難うございますが、此儀ばかりはどうぞ……」

「斷る、と申すか」

小十郎のゲヂ／＼眉が、險しく動きました。

「はい、どうぞ惡からず」

「人を、馬鹿にするなツ―」

破れるやうな大聲で、突然小十郎は怒鳴りました。

さいぜんから、次の間に隠れて様子を窺つて居た娘お琴と、母のお長とは、顔色を變へて驚きました。

惡旗本の御曹子小十郎は、怒りの聲を震はせて、怒鳴りつけるのでした。

「賤なら賤でよい、拙者も武士だ、もう頼まん。大體この身代は、誰のお蔭で出來たのだ、みんな死んだ拙者の親爺のお蔭でないか、その恩を忘れ自分獨りの力で出來たやうに思つて居ると、罰が當るぞ、その代り、其方が其方なら、此方も此方だ、いまに吠面を掻かぬやうにするが宜い」

「御立腹では恐れ入ります。親旦那さまの御恩を、決して忘れた譯ではございませんが……」

「然らば、なぜ快よく承知をしてお琴殿を雨宮氏に差上げないのだ」

傍に居る烏田鐵太郎が、頭から咬み付くやうに叱るのです。

「いえ、お言葉ではございますが、ほかの事と違ひまして、これはばかりは親の思ふまゝには參り兼ねまして……」

「默れ―」

小十郎は怒鳴りました。

「烏田、貴公は默つて居れ。犬にも劣る恩知らず、物の道理の分る奴でない……コレ幸兵衛、きさま天下の大罪人を匿まつたな」

「えッ」

思ひがけない小十郎の不意討な言葉に、幸兵衛はびつくりしました。

「どうだ驚いたらう。何も知らぬと思つて居るだらうが當家の伜仙之助は世間から爪彈きを受けてゐる放蕩者ではないか、それが先だつて本所において人を斬り、以來役人の目を免れて、逃げ廻つてゐるはずだ。幸兵衛、そちも親の身で、まさか知らぬとは言へまい。それを承知の上で仙之助を匿まうとは何事だ。科人を匿まへば、共に罪科の免れぬことぐらゐは承知であらう、それとも此の永樂屋の屋臺骨に傷の付くのは覺悟の上で仕たことか」